

注3

大学番号：私274

[平成27年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

中国学園大学 国際教養学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人中国学園
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教務部教務課

職名・氏名 教務部次長 ^{△ラマツタカオ} 村松敬生

電話番号 086-293-0542

（夜間） 086-293-0542

F A X 086-293-3993

e-mail kyomuka@cjc.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学新設の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

国際教養学部

＜国際教養学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	18
6. 留意事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	39

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人中国学園

(2) 大学名

中国学園大学

(3) 大学の位置

〒701-0197
岡山県岡山市北区庭瀬83番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナカマ ヒロシ) 中島 博 (平成6年9月)		
学長	(マツハタ キイチ) 松畑 熙一 (平成18年6月)		
学部長	(ウメハラ ヨシノブ) 梅原 嘉介 (平成27年4月)	(ササキ タケヒコ) 佐生 武彦 (平成28年6月)	梅原学部長の退任に伴う変更(29)
学科長等	(ササキ タケヒコ) 佐生 武彦 (平成27年4月)	(オハシ ノリキ) 大橋 典晶 (平成28年6月)	佐生学科長が、平成28年6月より学科長から学部長へ就任したことに伴う変更(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際教養学部 国際教養学科 学士(国際教養)	文学関係	年 4	人 80	年次 人 3年次 5	人 330	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人 (-) [-]	-人	80人 (-) [-]	-人	80人 (5) [-]	-人	80人 (5) [-]	-人	0.33倍	
志願者数	27 (-) [2]	-	46 (-) [-]	-	31 (1) [-]	-	56 (-) [2]	-		
受験者数	27 (-) [2]	-	44 (-) [-]	-	30 (1) [-]	-	53 (-) [2]	-		
合格者数	27 (-) [2]	-	43 (-) [-]	-	30 (1) [-]	-	49 (-) [2]	-		
B 入学者数	21 (-) [2]	-	26 (-) [-]	-	22 (1) [-]	-	38 (-) [2]	-		
入学定員超過率 B/A	0.26		0.32		0.27		0.47			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	21 [2] (-)	— [-] (-)	26 [-] (-)	— [-] (-)	22 [-] (-)	— [-] (-)	38 [2] (-)	— [-] (-)	
2年次	/		20 [2] (-)	— [-] (-)	26 [-] (-)	— [-] (-)	20 [-] (-)	— [-] (-)	
3年次	/		/		21 [2] (-)	— [-] (-)	25 [-] (-)	— [-] (-)	
4年次	/		/		/		19 [2] (-)	— [-] (-)	
計	21 [2] (-)		46 [2] (-)		69 [2] (-)		102 [4] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	21人	0人	平成27年度	0人	0人	
平成28年度	47人	1人	平成27年度	1人	0人	家庭の事情(1人)
			平成28年度	0人	0人	
平成29年度	69人	4人	平成27年度	1人	0人	家庭の事情(1人)
			平成28年度	1人	0人	就職(1人)
			平成29年度	2人	0人	就職(2人)
平成30年度	103人	1人	平成27年度	1人	0人	就学意欲の低下(1人)
			平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
合計	240人	6人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{21} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{47} = \boxed{2.12} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{69} = \boxed{5.79} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{103} = \boxed{0.97} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際教養学部 国際教養学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	日本語表現	1前	2								1
	心理学	1前	2								1
	経済学	1後	2								1
	ボランティア基礎論	1後	2								1
	芸術	2前	2								1
	倫理学	2前	2								1
	日本国憲法	2前	2								1
	自然科学概論	1前	2								1
	数学概論	1後	2								1
	現代環境論	2前	2								1
	生活と情報処理	1前	2								1
	韓国語	1通	4								1
	中国語	1通	4								1
	ベトナム語	2通	4								1
	タイ語	2通	4								1
	体育講義	1後	1								1
	体育実技	1後	1								1
ファーストイヤーセミナーⅠ	1前	1			1		1				
ファーストイヤーセミナーⅡ	1後	1			1		1				
国際教養基幹科目	異文化コミュニケーション論	1前	2			1					
	コミュニケーション技法	1前	2			1					
	日本文化論	1前	2								1
	比較文化論	1後	2								1
	日本近現代史	1後	2								1
	国際英語論	1後	2				1				
	現代経済論Ⅰ	2前	2			1					
	日本の伝統文化	2前	2			1					
	美しい日本語	2前	2								1
	応用言語学	2後	2								1
	国際関係論	3前	2								1
	英語学概論	3前	2			1					
	比較宗教論	3前	2								1
	NPO/NGO論	3前	2								1
	地域開発プロジェクト論	3前	2			1					
	吉備学	1後	2			1					
	英米文学概論	3後	2								1
西洋思想史	3後	2								1	
国際援助論	3後	2								1	
世界遺産研究	4前	2			1						
郷土が生んだ国際人	3前	2			1						
英語共通科目	インテグレート・イングリッシュA	1前	3				2	1			1
	インテグレート・イングリッシュB	1後	3				1	2			2
	インテグレート・イングリッシュC	2前	3				2	1			2
IT共通科目	情報処理Ⅰ	1前	2								2
	情報処理Ⅱ	1後	2								2
	WebプログラミングⅠ	2前	2			1					
英語コミュニケーション・フィールド科目	インディペンデント・スタディA	1前	1			1	1	1			
	インディペンデント・スタディB	1後	1			1	1	1			
	インディペンデント・スタディC	2前	1			1	1	1			
	インディペンデント・スタディD	2後	1			1	1	1			
	グラマー&ユーセツジ	1前	1			1					
	英検演習	1前	1				1	1			
	エクステンシブ・リーディングA	1後	1			1					
	エクステンシブ・リーディングB	2前	1				1				
	エクステンシブ・リーディングC	2後	1				1				
	イングリッシュ・ドラマA	1後	2			1					
	イングリッシュ・ドラマB	2前	2			1					
TOEFL演習	1後	1					1				

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	日本語表現	1前	2									1
	心理学	1前	2									1
	経済学	1後	2						1			
	ボランティア基礎論	1前	2									1
	芸術	2前	2									1
	倫理学	2後	2									1
	日本国憲法	2前	2									1
	自然科学概論	1前	2									1
	数学概論	1後	2									1
	現代環境論	2前	2									1
	生活と情報処理	1前	2									1
	韓国語	1通	4									1
	中国語	1通	4									1
	ベトナム語(未開講)	2通	4									1
	タイ語	2通	4									1
	体育講義	1後	1									1
	体育実技	1後	1									1
ファーストイヤーセミナーⅠ	1前	1				1			1			
ファーストイヤーセミナーⅡ	1後	1				1			1			
国際教養基幹科目	異文化コミュニケーション論	1前	2			1						
	コミュニケーション技法	1前	2			1						
	日本文化論	1後	2									1
	比較文化論	1後	2									1
	日本近現代史	1後	2									1
	国際英語論	1後	2					1				
	現代経済論Ⅰ	2前	2			1						
	日本の伝統文化	2前	2			1						
	美しい日本語	2前	2									1
	応用言語学	2後	2									1
	国際関係論	3前	2									1
	英語学概論	3前	2			1						
	比較宗教論	3前	2									1
	NPO/NGO論	3前	2									1
	地域開発プロジェクト論	3前	2			1						
	吉備学	1後	2			1						
	英米文学概論	3後	2									1
西洋思想史	3後	2									1	
国際援助論	3後	2									1	
世界遺産研究	4前	2			1							
郷土が生んだ国際人	3前	2			1							
英語共通科目	インテグレート・イングリッシュA	1前	3				2	1	1			1
	インテグレート・イングリッシュB	1後	3				1	2	1			2
	インテグレート・イングリッシュC	2前	3				2	1	1			2
IT共通科目	情報処理Ⅰ	1前	2									2
	情報処理Ⅱ	1後	2									2
	WebプログラミングⅠ	2前	2			1						
英語コミュニケーション・フィールド科目	インディペンデント・スタディA	1前	1			1	1	1		1		
	インディペンデント・スタディB	1後	1			1	1	1		1		
	インディペンデント・スタディC	2前	1			1	1	1		1		
	インディペンデント・スタディD	2後	1			1	1	1		1		
	グラマー&ユーセツジ	1前	1			1						
	英検演習	1前	1				1	1		1		
	エクステンシブ・リーディングA	1後	1			1						
	エクステンシブ・リーディングB	2前	1				1					1
	エクステンシブ・リーディングC	2後	1				1			1		
	イングリッシュ・ドラマA	1後	2			1						
	イングリッシュ・ドラマB	2前	2			1						
TOEFL演習	1後	1							1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
英語コミュニケーション・フィールド科目	ツーリズム・イングリッシュA	2前	2			1						
	ツーリズム・イングリッシュB	2後	2			1						
	ビジネス・イングリッシュA	2前	2			1						
	ビジネス・イングリッシュB	3前	2			1						
	ポピュラー・ソング	2前	1		1							
	TOEIC演習	2後	1			1						
	インテグレート・イングリッシュD	2後	3			2	1					
	インテグレート・イングリッシュE	3前	3			1						1
	インテグレート・イングリッシュF	3後	3					1				1
	ライティングA	2後	2			1						
	ライティングB	3前	2			1						1
	英語プレゼンテーションA	3前	2					1				
	英語プレゼンテーションB	3後	2					1				
	英語ディベートA	3前	2			1						
	英語ディベートB	3後	2			1						
	児童英語教授法	3前	2									1
	児童英語演習	3後	2									1
時事英語A	3前	2		1								
時事英語B	4前	2		1								
日英翻訳演習	3後	2									1	
日英通訳演習A	4前	2									1	
日英通訳演習B	4後	2									1	
国際文化フィールド科目	アメリカン・ポップカルチャー	1前	2		1							
	日本のポップカルチャー	1後	2									1
	日米関係	2前	2		1							
	地域科学概論	2前	2		1							
	世界の音楽	2前	2									1
	日本アニメ論	2前	2									1
	日本の食文化	2後	2									1
	世界の美術と工芸	2後	2		1							
	日・東アジア関係	3前	2									1
	日本の文学	3前	2									1
	日本の音楽	3前	2									1
	地域研究A(北米)	3前	2		1							
	地域研究B(東アジア)	3前	2		1							
	地域研究C(東南アジア・オセアニア)	3後	2		1							
	地域研究D(ヨーロッパ)	3後	2									1
	日本思想史	3後	2									1
	日・アセアン関係	3後	2									1
英米文学講読	4前	2									1	
日本中世・近世史	4前	2									1	
記紀神話の世界	4後	2									1	
国際ビジネス・フィールド科目	現代社会とビジネス環境論	2前	2		1							
	国際ビジネスコミュニケーション論	2前	2		1							1
	統計学	2前	2									1
	経営学Ⅰ	2前	2			1						
	経営学Ⅱ	2後	2			1						
	簿記会計論Ⅰ	2前	2		1							1
	簿記会計論Ⅱ	2後	2		1							1
	メディア論	2後	2									1
	現代経済論Ⅱ	2後	2									1
	WebプログラミングⅡ	2後	2		1							
	WebプログラミングⅢ	3前	2		1							
	国際経営戦略とマーケティング	3前	2			1						
	地域ビジネス論	3前	2		1							
	トップリーダー経営論	3前	2			1						
	ネットワークと情報の管理Ⅰ	3前	2									1
	ネットワークと情報の管理Ⅱ	3後	2									1
	財務会計とファイナンス論	3後	2		1							1
知的財産法	3後	2									1	
Webデザイン論	3後	2									1	
ベンチャー起業論	4前	2									1	
Webアプリ開発Ⅰ	4前	2									1	
Webアプリ開発Ⅱ	4後	2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
英語コミュニケーション・フィールド科目	ツーリズム・イングリッシュA	2前	2			1						
	ツーリズム・イングリッシュB	2後	2			1						
	ビジネス・イングリッシュA	2前	2			1						
	ビジネス・イングリッシュB	3前	2			1						
	ポピュラー・ソング	2前	1		1							
	TOEIC演習	2前	1			1						
	インテグレート・イングリッシュD	2後	3			2	1					
	インテグレート・イングリッシュE	3前	3			1						2
	インテグレート・イングリッシュF	3後	3					1				1
	ライティングA	2後	2			1						
	ライティングB	3前	2			1						1
	英語プレゼンテーションA	3前	2					1				
	英語プレゼンテーションB	3後	2					1				
	英語ディベートA	3前	2			1						
	英語ディベートB	3後	2			1						
	児童英語教授法	3前	2									1
	児童英語演習	3後	2									1
時事英語A	3前	2		1								
時事英語B(未開講)	4前	2		1								
日英翻訳演習	3後	2									1	
日英通訳演習A	4前	2									1	
日英通訳演習B	4後	2									1	
国際文化フィールド科目	日本語教育概論	3前	2									1
	日本語教育法	3前	2									1
	日本語教育演習	3後	2									1
	アメリカン・ポップカルチャー	1前	2		1							
	日本のポップカルチャー	1後	2									1
	日米関係	2前	2		1							
	地域科学概論	2前	2		1							
	世界の音楽	2前	2									1
	日本アニメ論	2前	2									1
	日本の食文化	2後	2									1
	世界の美術と工芸	2後	2		1							
	日・東アジア関係	3前	2									1
	日本の文学	3前	2									1
	日本の音楽	3前	2									1
	地域研究A(北米)	3前	2		1							
	地域研究B(東アジア)	3前	2		1							
	地域研究C(東南アジア・オセアニア)	3後	2		1							
地域研究D(ヨーロッパ)	3後	2									1	
日本思想史	3後	2									1	
日・アセアン関係	3後	2						1				
英米文学講読	4前	2									1	
日本中世・近世史	4前	2									1	
記紀神話の世界	4後	2									1	
国際ビジネス・フィールド科目	現代社会とビジネス環境論	2前	2		1							
	国際ビジネスコミュニケーション論	2前	2		1							1
	統計学	2前	2									1
	経営学Ⅰ	2前	2			1						
	経営学Ⅱ	2後	2			1						
	簿記会計論Ⅰ	2前	2		1							1
	簿記会計論Ⅱ	2後	2		1							1
	メディア論	2後	2									1
	現代経済論Ⅱ	2後	2									1
	WebプログラミングⅡ	2後	2		1							
	WebプログラミングⅢ	3前	2		1							
	国際経営戦略とマーケティング	3前	2			1						
	地域ビジネス論	3前	2		1							
	トップリーダー経営論	3前	2			1						
	ネットワークと情報の管理Ⅰ	3前	2									1
	ネットワークと情報の管理Ⅱ	3後	2									1
	財務会計とファイナンス論	3後	2		1							1
知的財産法	3後	2									1	
Webデザイン論	3後	2									1	
ベンチャー起業論	4前	2									1	
Webアプリ開発Ⅰ	4前	2									1	
Webアプリ開発Ⅱ	4後	2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
ゼミナール科目	基礎ゼミⅠ	2前	2			4	5	2						
	基礎ゼミⅡ	2後		2		4	5	2						
	専門ゼミⅠ	3前	2			5	5							
	専門ゼミⅡ	3後	2			5	5							
	専門ゼミⅢ	4前	2			5	5							
	専門ゼミⅣ	4後	2			5	5							
	キャリア教育科目	キャリア・デザインⅠ	1前	2			1	1						
		キャリア・デザインⅡ	3前	2			1	1						
		トップリーダー講義	1後	2				1						
		インターンシップ(短期)	3後		2			1						
		インターンシップ(中長期)	3後		4			1						
	海外留学科目	オリエンテーション海外研修	1前		2			1						
		留学準備セミナー	2前		2				1					
		セメスター留学	2後		12		1							
日本語科目	日本語Ⅰ	1前		2								1		
	日本語Ⅰ	1前		2								1		
	日本語Ⅱ	1後		2								1		
教職に関する科目	教職概論	1前			2								1	
	教育原理	1後			2								1	
	教育心理学	1後			2								1	
	教育社会学	2前			2								1	
	教育課程総論	2前			2								1	
	英語科教育法Ⅰ	2前			2	1								
	英語科教育法Ⅱ	3前			2	1								
	英語科教育法Ⅲ	3後			2		1							
	英語科教育法Ⅳ	3後			2	1								
	道徳教育指導論	3後			2								1	
	特別活動論	3後			2								1	
	教育方法学	2前			2								2	
	生徒指導の理論と方法	3前			2								1	
	教育相談	3後			2								1	
	教育実習研究(中)	3後			1	1								
	教育実習研究(高)	3後			1			1						
	教育実習(中)	4前			4	1								
	教育実習(高)	4前			2			1						
教職実践演習(中・高)	4後			2	1	1	1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
ゼミナール科目	基礎ゼミⅠ	2前	2			5	4	3						
	基礎ゼミⅡ	2後		2		5	4	3						
	専門ゼミⅠ	3前	2			5	4	3						
	専門ゼミⅡ	3後	2			5	4	3						
	専門ゼミⅢ	4前	2			5	4	3					1	
	専門ゼミⅣ	4後	2			5	4	3					1	
	キャリア教育科目	キャリア・デザインⅠ	1前	2			1	1						
		キャリア・デザインⅡ	3後	2			1	1						
		トップリーダー講義	1後	2				1						
		インターンシップ(短期)	3後		2			1						
		インターンシップ(中長期)	3後		4			1						
	海外留学科目	オリエンテーション海外研修	1前		2			1						
		留学準備セミナー	2前		2				1					
		セメスター留学	2後		12		1							
日本語科目	日本語Ⅰ	1前		2									1	
	日本語Ⅰ	1前		2									1	
	日本語Ⅱ	1後		2									1	
教職に関する科目	教職概論	1前			2								1	
	教育原理	1後			2								1	
	教育心理学	1後			2								1	
	教育社会学	2前			2								1	
	教育課程総論	2前			2								1	
	英語科教育法Ⅰ	2前			2	1								
	英語科教育法Ⅱ	3前			2	1								
	英語科教育法Ⅲ	3後			2		1							
	英語科教育法Ⅳ	3後			2	1								
	道徳教育指導論	3後			2								1	
	特別活動論	3後			2								1	
	教育方法学	2前			2								2	
	生徒指導の理論と方法	3前			2								1	
	教育相談	3後			2								1	
	教育実習研究(中)	3後			1	1								
	教育実習研究(高)	3後			1			1						
	教育実習(中)	4前			4	1								
	教育実習(高)	4前			2			1						
教職実践演習(中・高)	4後			2	1	1	1							

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	日本語表現	1前	2								1
	心理学	1前	2								1
	経済学	1後	2								1
	ボランティア基礎論	1前	2								1
	芸術	2前	2								1
	倫理学	2前	2								1
	日本国憲法	2前	2								1
	自然科学概論(未開講)	1前	2								1
	数学概論	1後	2								1
	現代環境論	2前	2								1
	生活と情報処理	1前	2								1
	韓国語	1通	4								1
	中国語	1通	4								1
	ベトナム語	2通	4								1
	タイ語	2通	4								1
	体育講義	1後	1								1
体育実技	1後	1								1	
ファーストイヤーセミナーⅠ	1前	1			1		1				
ファーストイヤーセミナーⅡ	1後	1			1		1				
国際教養基幹科目	異文化コミュニケーション論	1前	2			1					
	コミュニケーション技法	1前	2			1					
	日本文化論	1前	2								1
	比較文化論	1後	2								1
	日本近現代史	1後	2								1
	国際英語論	1後	2				1				
	現代経済論Ⅰ	2前	2			1					
	日本の伝統文化	2前	2			1					
	美しい日本語	2前	2								1
	応用言語学	2後	2								1
	国際関係論	3前	2								1
	英語学概論	3前	2			1					
	比較宗教論	3前	2								1
	NPO/NGO論	3前	2								1
	地域開発プロジェクト論	3前	2			1					
	吉備学	1後	2			1					
英米文学概論	3後	2								1	
西洋思想史	3後	2								1	
国際援助論	3後	2								1	
世界遺産研究	4前	2			1						
郷土が生んだ国際人	3前	2			1						
英語共通科目	インテグレート・イングリッシュA	1前	3			1	2	1			1
	インテグレート・イングリッシュB	1後	3			1	2	2			2
	インテグレート・イングリッシュC	2前	3				2	1			2
IT共通科目	情報処理Ⅰ	1前	2								2
	情報処理Ⅱ	1後	2								2
	WebプログラミングⅠ	2前	2			1					
英語コミュニケーション・フィールド科目	インディペンデント・スタディA	1前	1			1	1				
	インディペンデント・スタディB	1後	1			1	1	1			
	インディペンデント・スタディC	2前	1			1		1			
	インディペンデント・スタディD	2後	1					1			
	グラマー&ユースージ	1前	1			1					
	英検演習	1前	1				1				
	エクステンシブ・リーディングA	1後	1			1					
	エクステンシブ・リーディングB	2前	1				1				
	エクステンシブ・リーディングC	2後	1				1				
	イングリッシュ・ドラマA	1後	2			1					
	イングリッシュ・ドラマB	2前	2			1					
TOEFL演習	1後	1					1				

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	日本語表現	1前	2									1
	心理学	1前	2									1
	経済学	1後	2					1				
	ボランティア基礎論(未開講)	1前	2									1
	芸術(未開講)	2前	2									1
	倫理学	2後	2									1
	日本国憲法	2前	2									1
	自然科学概論(未開講)	1前	2									1
	数学概論(未開講)	1後	2									1
	現代環境論	2前	2									1
	生活と情報処理	1前	2									1
	韓国語	1通	4									1
	中国語	1通	4									1
	ベトナム語	2通	4									1
	タイ語	2通	4									1
	体育講義	1後	1									1
体育実技	1後	1									1	
ファーストイヤーセミナーⅠ	1前	1				1		1				
ファーストイヤーセミナーⅡ	1後	1				1		1				
国際教養基幹科目	異文化コミュニケーション論	1前	2			1						
	コミュニケーション技法	1前	2			1						
	日本文化論	1後	2									1
	比較文化論	1後	2									1
	日本近現代史	1後	2									1
	国際英語論	1後	2					1				
	現代経済論Ⅰ	2前	2				1					
	日本の伝統文化	2前	2				1					
	美しい日本語	2前	2									1
	応用言語学	2後	2									1
	国際関係論	3前	2									1
	英語学概論	3前	2			1						
	比較宗教論	3前	2									1
	NPO/NGO論	3前	2									1
	地域開発プロジェクト論	3前	2			1						
	吉備学	1後	2			1						
英米文学概論	3後	2									1	
西洋思想史	3後	2									1	
国際援助論	3後	2									1	
世界遺産研究	4前	2			1							
郷土が生んだ国際人	3前	2			1							
英語共通科目	インテグレート・イングリッシュA	1前	3			1	2	1				1
	インテグレート・イングリッシュB	1後	3			1	2	2				2
	インテグレート・イングリッシュC	2前	3				2	1				2
IT共通科目	情報処理Ⅰ	1前	2									2
	情報処理Ⅱ	1後	2									2
	WebプログラミングⅠ	2前	2			1						
英語コミュニケーション・フィールド科目	インディペンデント・スタディA	1前	1			1	1		1			
	インディペンデント・スタディB	1後	1			1	1	1				
	インディペンデント・スタディC	2前	1			1		1				
	インディペンデント・スタディD	2後	1					1				
	グラマー&ユースージ	1前	1			1						
	英検演習	1前	1				1		1			
	エクステンシブ・リーディングA	1後	1			1						
	エクステンシブ・リーディングB	2前	1				1					
	エクステンシブ・リーディングC	2後	1				1					
	イングリッシュ・ドラマA	1後	2			1						
	イングリッシュ・ドラマB	2前	2			1						
TOEFL演習	1後	1					1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手			
英語コミュニケーション・フィールド科目	ツーリズム・イングリッシュA	2前	2			1							
	ツーリズム・イングリッシュB	2後	2			1							
	ビジネス・イングリッシュA	2前	2			1							
	ビジネス・イングリッシュB	3前	2			1							
	ポピュラー・ソング	2前	1		1								
	TOEIC演習	2前	1			1							
	インテグレート・イングリッシュD	2後	3			2	1						
	インテグレート・イングリッシュE	3前	3			1					1		
	インテグレート・イングリッシュF	3後	3				1				1		
	ライティングA	2後	2			1							
	ライティングB	3前	2			1							
	英語プレゼンテーションA	3前	2				1						
	英語プレゼンテーションB	3後	2				1						
	英語ディベートA	3前	2			1							
	英語ディベートB	3後	2			1							
	児童英語教授法	3前	2								1		
	児童英語演習	3後	2								1		
	時事英語A	3前	2			1							
	時事英語B	4前	2			1							
	日英翻訳演習	3後	2								1		
	日英通訳演習A	4前	2								1		
	日英通訳演習B	4後	2								1		
	国際文化フィールド科目	アメリカン・ポップカルチャー	1前	2		1							
		日本のポップカルチャー	1後	2								1	
		日米関係	2前	2		1							
		地域科学概論	2前	2		1							
		世界の音楽	2前	2								1	
		日本アニメ論	2前	2								1	
日本の食文化		2後	2								1		
世界の美術と工芸		2後	2		1								
日・東アジア関係		3前	2								1		
日本の文学		3前	2								1		
日本の音楽		3前	2								1		
地域研究A(北米)		3前	2		1								
地域研究B(東アジア)		3前	2		1								
地域研究C(東南アジア・オセアニア)		3後	2		1								
地域研究D(ヨーロッパ)		3後	2								1		
日本思想史		3後	2								1		
日・アセアン関係		3後	2								1		
英米文学講読		4前	2								1		
日本中世・近世史		4前	2								1		
記紀神話の世界		4後	2								1		
国際ビジネス・フィールド科目		現代社会とビジネス環境論	2前	2			1						
		国際ビジネスコミュニケーション論	2前	2			1						
		統計学	2前	2								1	
		経営学 I	2前	2			1						
		経営学 II	2後	2			1						
		簿記会計論 I	2前	2			1						1
		簿記会計論 II	2後	2			1						1
		メディア論	2後	2									1
	現代経済論 II	2後	2		1								
	Webプログラミング II	2後	2		1								
	Webプログラミング III	3前	2		1								
	国際経営戦略とマーケティング	3前	2			1							
	地域ビジネス論	3前	2		1								
	トップリーダー経営論	3前	2			1							
	ネットワークと情報の管理 I	3前	2								1		
	ネットワークと情報の管理 II	3後	2								1		
	財務会計とファイナンス論	3後	2			1							
	知的財産法	3後	2								1		
	Webデザイン論	3後	2								1		
	ベンチャー起業論	4前	2								1		
	Webアプリ開発 I	4前	2								1		
	Webアプリ開発 II	4後	2								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手			
英語コミュニケーション・フィールド科目	ツーリズム・イングリッシュA	2前	2			1							
	ツーリズム・イングリッシュB	2後	2			1							
	ビジネス・イングリッシュA	2前	2			1							
	ビジネス・イングリッシュB	3前	2			1							
	ポピュラー・ソング	2前	1		1								
	TOEIC演習	2前	1			1							
	インテグレート・イングリッシュD	2後	3			2	1						
	インテグレート・イングリッシュE	3前	3			1					1		
	インテグレート・イングリッシュF	3後	3				1				1		
	ライティングA	2後	2			1							
	ライティングB	3前	2			1							
	英語プレゼンテーションA	3前	2				1						
	英語プレゼンテーションB	3後	2				1						
	英語ディベートA	3前	2			1							
	英語ディベートB	3後	2			1							
	児童英語教授法	3前	2								1		
	児童英語演習	3後	2								1		
	時事英語A	3前	2			1							
	時事英語B	4前	2			1							
	日英翻訳演習	3後	2								1		
	日英通訳演習A	4前	2								1		
	日英通訳演習B	4後	2								1		
	国際文化フィールド科目	アメリカン・ポップカルチャー	1前	2		1							
		日本のポップカルチャー	1後	2								1	
		日米関係	2前	2		1							
		地域科学概論(未開講)	2前	2		1							
		世界の音楽	2前	2								1	
		日本アニメ論	2前	2								1	
日本の食文化		2後	2								1		
世界の美術と工芸		2後	2		1								
日・東アジア関係		3前	2								1		
日本の文学		3前	2								1		
日本の音楽		3前	2								1		
地域研究A(北米)		3前	2		1								
地域研究B(東アジア)		3前	2		1								
地域研究C(東南アジア・オセアニア)		3後	2		1								
地域研究D(ヨーロッパ)		3後	2								1		
日本思想史		3後	2								1		
日・アセアン関係		3後	2								1		
英米文学講読		4前	2								1		
日本中世・近世史		4前	2								1		
記紀神話の世界		4後	2								1		
国際ビジネス・フィールド科目		現代社会とビジネス環境論	2前	2			1						
		国際ビジネスコミュニケーション論	2前	2			1						
		統計学(未開講)	2前	2								1	
		経営学 I	2前	2			1						
		経営学 II	2後	2			1						
		簿記会計論 I	2前	2			1						1
		簿記会計論 II	2後	2			1						1
		メディア論	2後	2									1
	現代経済論 II	2後	2		1								
	Webプログラミング II	2後	2		1								
	Webプログラミング III	3前	2		1								
	国際経営戦略とマーケティング	3前	2			1							
	地域ビジネス論	3前	2		1								
	トップリーダー経営論	3前	2			1							
	ネットワークと情報の管理 I	3前	2								1		
	ネットワークと情報の管理 II	3後	2								1		
	財務会計とファイナンス論	3後	2			1							
	知的財産法	3後	2								1		
	Webデザイン論	3後	2								1		
	ベンチャー起業論	4前	2								1		
	Webアプリ開発 I	4前	2								1		
	Webアプリ開発 II	4後	2								1		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
												教	准 教 授
専門 教育 科目	ゼミナール科目	基礎ゼミⅠ	2			4	5	2					
		基礎ゼミⅡ	2	2		4	5	2					
		専門ゼミⅠ	3			5	5						
		専門ゼミⅡ	3			5	5						
		専門ゼミⅢ	4			5	5						
		専門ゼミⅣ	4			5	5						
		キャリア・デザインⅠ	1			1	1						
		キャリア・デザインⅡ	3			1	1						
		トッリーダー講義	1			1	1						
		インターンシップ(短期)	3		2		1						
		インターンシップ(中長期)	3		4		1						
		オリエンテーション海外研修	1		2		1						
		留学準備セミナー	2		2			1					
		セメスター留学	2		12		1						
教職 に 関 する 科 目		日本事情	1										1
		日本語Ⅰ	1										1
		日本語Ⅱ	1										1
		教職概論	1		2								1
		教育原理	1		2								1
		教育心理学	1		2								1
		教育社会学	2		2								1
		教育課程総論	2		2								1
		英語科教育法Ⅰ	2		2	1							
		英語科教育法Ⅱ	3		2	1							
		英語科教育法Ⅲ	3		2		1						
		英語科教育法Ⅳ	3		2	1							
		道德教育指導論	3		2								1
		特別活動論	3		2								1
	教育方法学	2		2								2	
	生徒指導の理論と方法	3		2								1	
	教育相談	3		2								1	
	教育実習研究(中)	3		1	1								
	教育実習研究(高)	3		1			1						
	教育実習(中)	4		4	1								
	教育実習(高)	4		2			1						
	教職実践演習(中・高)	4		2	1	1	1						

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
												教	准 教 授
専門 教育 科目	ゼミナール科目	基礎ゼミⅠ	2			5	5	2					
		基礎ゼミⅡ	2	2		5	5	2					
		専門ゼミⅠ	3			5	5	2					
		専門ゼミⅡ	3			5	5	2					
		専門ゼミⅢ	4			5	5	2					
		専門ゼミⅣ	4			5	5	2					
		キャリア・デザインⅠ	1			1	1						
		キャリア・デザインⅡ	3			1	1						
		トッリーダー講義	1			1	1						
		インターンシップ(短期)	3		2		1						
		インターンシップ(中長期)	3		4		1						
		オリエンテーション海外研修	1		2		1						
		留学準備セミナー	2		2			1					
		セメスター留学	2		12		1						
教職 に 関 する 科 目		日本事情(未開講)	1										1
		日本語Ⅰ(未開講)	1										1
		日本語Ⅱ(未開講)	1										1
		教職概論	1		2								1
		教育原理	1		2								1
		教育心理学	1		2								1
		教育社会学	2		2								1
		教育課程総論	2		2								1
		英語科教育法Ⅰ	2		2	1							
		英語科教育法Ⅱ	3		2	1							
		英語科教育法Ⅲ	3		2		1						
		英語科教育法Ⅳ	3		2	1							
		道德教育指導論	3		2								1
		特別活動論	3		2								1
	教育方法学	2		2								2	
	生徒指導の理論と方法	3		2								1	
	教育相談	3		2								1	
	教育実習研究(中)	3		1	1								
	教育実習研究(高)	3		1			1						
	教育実習(中)	4		4	1								
	教育実習(高)	4		2			1						
	教職実践演習(中・高)	4		2	1	1	1						

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	日本語表現	1前		2								1
	心理学	1前		2								1
	経済学	1後		2		1						
	ボランティア基礎論	1前		2								1
	芸術	2前		2								1
	倫理学	2後		2								1
	日本国憲法	2前		2								1
	自然科学概論	1前		2								1
	数学概論	1後		2								1
	現代環境論	2前		2								1
	生活と情報処理	1前		2								1
	韓国語	1通		4								1
	中国語	1通		4								1
	ベトナム語	2通		4								1
	タイ語	2通		4								1
	体育講義	1後		1								1
	体育実技	1後		1								1
ファーストイヤーセミナーⅠ	1前	1			1		1					
ファーストイヤーセミナーⅡ	1後	1			1		1					
専門教育科目	異文化コミュニケーション論	1前		2			1					
	コミュニケーション技法	1前		2			1					
	日本文化論	1後		2								1
	比較文化論	1後		2								1
	日本近現代史	1後		2								1
	国際英語論	1後		2				1				
	現代経済論Ⅰ	2前		2			1					
	日本の伝統文化	2前		2			1					
	美しい日本語	2前		2								1
	応用言語学	2後		2								1
	国際関係論	3後		2								1
	英語学概論	3前		2			1					
	比較宗教論	3前		2								1
	NPO/NGO論	3前		2								1
	地域開発プロジェクト論	3前		2			1					
	吉備学	1後		2			1					
	英米文学概論	3後		2								1
	西洋思想史	3後		2								1
	国際援助論	3後		2								1
	世界遺産研究	4前		2			1					
郷土が生んだ国際人	3前		2			1						
英語共通科目	インテグレート・イングリッシュA	1前	3			1	2	1				1
	インテグレート・イングリッシュB	1後	3			1	2					2
	インテグレート・イングリッシュC	2前	3				2	1				2
IT共通科目	情報処理Ⅰ	1前		2								2
	情報処理Ⅱ	1後		2								2
	WebプログラミングⅠ	2前		2		1						
英語コミュニケーション・フィールド科目	インディペンデント・スタディA	1前		1		1	1	1				
	インディペンデント・スタディB	1後		1		1	1	1				
	インディペンデント・スタディC	2前		1		1		1				
	インディペンデント・スタディD	2後		1				1				
	グラマー&ユーセッジ	1前		1		1						
	英検演習	1前		1			1	1				
	エクステンシブ・リーディングA	1後		1		1						
	エクステンシブ・リーディングB	2前		1			1					
	エクステンシブ・リーディングC	2後		1			1					
	イングリッシュ・ドラマA	1後		2		1						
イングリッシュ・ドラマB	2前		2		1							
TOEFL演習	1後		1					1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
英語コミュニケーション・フィールド科目	ツーリズム・イングリッシュA	2前	2			1						
	ツーリズム・イングリッシュB	2後	2			1						
	ビジネス・イングリッシュA	2前	2			1						
	ビジネス・イングリッシュB	3前	2			1						
	ポピュラー・ソング	2前	1		1							
	TOEIC演習	2前	1			1						
	インテグレート・イングリッシュD	2後	3			2	1					
	インテグレート・イングリッシュE	3前	3			1					2	
	インテグレート・イングリッシュF	3後	3				1				1	
	ライティングA	2後	2			1						
	ライティングB	3前	2			1						
	英語プレゼンテーションA	3前	2					1				
	英語プレゼンテーションB	3後	2					1				
	英語ディベートA	3前	2			1						
	英語ディベートB	3後	2			1						
	児童英語教授法	3前	2									1
	児童英語演習	3後	2									1
	時事英語A	3前	2			1						
	時事英語B	4前	2			1						
	日英翻訳演習	3後	2									1
日英通訳演習A	4前	2									1	
日英通訳演習B	4後	2									1	
国際文化フィールド科目	日本語教育概論	3前	2									1
	日本語教育法	3前	2									1
	日本語教育演習	3後	2									1
	アメリカン・ポップカルチャー	1前	2		1							
	日本のポップカルチャー	1後	2									1
	日米関係	2前	2		1							
	地域科学概論	2前	2		1							
	世界の音楽	2前	2									1
	日本アニメ論	2前	2									1
	日本の食文化	2後	2									1
	世界の美術と工芸	2後	2		1							
	日・東アジア関係	3前	2									1
	日本の文学(未開講)	3前	2									1
	日本の音楽	3前	2									1
	地域研究A(北米)(未開講)	3前	2		1							
	地域研究B(東アジア)	3前	2		1							
	地域研究C(東南アジア・オセアニア)	3後	2		1							
	地域研究D(ヨーロッパ)	3後	2									1
	日本思想史	3後	2									1
	日・アセアン関係	3後	2		1							
英米文学講読	4前	2									1	
日本中世・近世史	4前	2									1	
記紀神話の世界	4後	2									1	
国際ビジネス・フィールド科目	現代社会とビジネス環境論	2前	2		1							
	国際ビジネスコミュニケーション論	2前	2		1							
	統計学	2前	2									1
	経営学 I	2前	2			1						
	経営学 II	2後	2			1						
	簿記会計論 I	2前	2					1				
	簿記会計論 II	2後	2					1				
	メディア論	2後	2									1
	現代経済論 II	2後	2		1							
	Webプログラミング II	2後	2		1							
	Webプログラミング III	3前	2		1							
	国際経営戦略とマーケティング	3前	2			1						
	地域ビジネス論	3前	2		1							
	トップリーダー経営論	3前	2			1						
	ネットワークと情報の管理 I	3前	2									1
	ネットワークと情報の管理 II	3後	2									1
	財務会計とファイナンス論(未開講)	3後	2									1
知的財産法	3後	2									1	
Webデザイン論	3後	2									1	
ベンチャー起業論	4前	2									1	
Webアプリ開発 I	4前	2									1	
Webアプリ開発 II	4後	2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
ゼミナール科目	基礎ゼミⅠ	2前	2			5	5	3					
	基礎ゼミⅡ	2後		2		5	5	3					
	専門ゼミⅠ	3前	2			5	5	3					
	専門ゼミⅡ	3後	2			5	5	3					
	専門ゼミⅢ	4前	2			5	5	3					
	専門ゼミⅣ	4後	2			5	5	3					
	キャリア教育科目	キャリア・デザインⅠ	1前	2			1	1					
		キャリア・デザインⅡ	3後	2			1	1					
		トップリーダー講義	1後	2				1					
		インターンシップ(短期)	3後		2			1					
		インターンシップ(中長期)	3後		4			1					
	海外留学科目	オリエンテーション海外研修	1前	2				1					
		留学準備セミナー	2前	2								1	
		セメスター留学	2後	12			1						
日本語科目	日本事情(未開講)	1前	2									1	
	日本語Ⅰ(未開講)	1前	2									1	
	日本語Ⅱ(未開講)	1後	2									1	
教職に関する科目	教職概論	1前			2							1	
	教育原理	1後			2							1	
	教育心理学	1後			2							1	
	教育社会学	2前			2							1	
	教育課程総論	2前			2							1	
	英語科教育法Ⅰ	2前			2	1							
	英語科教育法Ⅱ	3前			2	1							
	英語科教育法Ⅲ	3後			2		1						
	英語科教育法Ⅳ(未開講)	3後			2	1							
	道徳教育指導論	3後			2							1	
	特別活動論	3後			2							1	
	教育方法学	2前			2							2	
	生徒指導の理論と方法	3前			2							1	
	教育相談	3後			2							1	
	教育実習研究(中)	3後			1	1							
	教育実習研究(高)	3後			1			1					
	教育実習(中)	4前			4	1							
教育実習(高)	4前			2			1						
教職実践演習(中・高)	4後			2	1	1	1						

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 - ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成27年度】

- ・教育効果を考慮したことにより、「ボランティア基礎論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・授業担当教員が就任辞退したことにより、「インテイク・デザインA」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・授業担当教員が就任辞退したことにより、「英検演習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。

【平成28年度】

- ・教育効果を考慮したことにより、「倫理学」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・教育効果を考慮したことにより、「日本文化論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・授業担当教員が辞任して交代したことにより、「経済学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・「インテイク・デザインA」の専任教員が就任したことにより、専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・「英検演習」の専任教員が就任したことにより、専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・授業担当教員が就任辞退して交代したことにより、「簿記会計論I」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・授業担当教員が就任辞退して交代したことにより、「簿記会計論II」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・授業担当教員が就任辞退し、専任教員審査の判定が不可であったことにより、「財務会計とファイナンス論」の担当が未定。
- ・教育内容の充実のため授業担当教員を追加したことにより、「基礎ゼミI」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」に変更。
- ・教育内容の充実のため授業担当教員を追加したことにより、「基礎ゼミII」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」に変更。
- ・教育内容の充実のため授業担当教員を追加したことにより、「専門ゼミI」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師2」に変更。
- ・教育内容の充実のため授業担当教員を追加したことにより、「専門ゼミII」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師2」に変更。
- ・教育内容の充実のため授業担当教員を追加したことにより、「専門ゼミIII」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師2」に変更。
- ・教育内容の充実のため授業担当教員を追加したことにより、「専門ゼミIV」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師2」に変更。

【平成29年度】

- ・教育効果を考慮したことにより、「国際関係論」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・教育効果を考慮したことにより、「キャリア・デザインII」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・授業担当教員が辞任したことにより、「ファーストセミナーI」の専任教員を変更。職位については変更無し。
- ・授業担当教員が辞任したことにより、「ファーストセミナーII」の専任教員を変更。職位については変更無し。
- ・授業担当教員が辞任したことにより、「インテイク・デザインA」の専任教員を変更。職位については変更無し。
- ・授業担当教員が辞任したことにより、「インテイク・デザインC」の専任教員を変更。職位については変更無し。
- ・授業担当教員が辞任したことにより、「TOEFL演習」の専任教員を変更。職位については変更無し。
- ・授業担当教員が辞任したことにより、「インテイク・デザインD」の専任教員を変更。職位については変更無し。
- ・教育内容の充実のため授業担当教員を追加したことにより、「インテイク・デザインE」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・授業担当教員が辞任したことにより、「インテイク・デザインF」の専任教員を変更。職位については変更無し。
- ・教育課程の充実を図るため新規3科目の追加。「日本語教育概論」「日本語教育法」「日本語教育演習」
- ・授業担当教員が辞任して交代したことにより、「日・アセアン関係」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・「簿記会計論I」の授業担当教員が兼任から専任へ職位変更したことにより、専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
- ・「財務会計とファイナンス論」の兼任教員が就任したことにより、専任教員等の配置を「兼任・兼任1」に変更。
- ・「基礎ゼミI」の専任講師1名の辞任及び専任講師2名の追加により、専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」に変更。
- ・「基礎ゼミII」の専任講師1名の辞任及び専任講師2名の追加により、専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」に変更。
- ・「専門ゼミI」の専任講師1名の辞任及び専任講師2名の追加により、専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」に変更。
- ・「専門ゼミII」の専任講師1名の辞任及び専任講師2名の追加により、専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」に変更。
- ・「専門ゼミIII」の専任講師1名の辞任及び専任講師2名の追加により、専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」に変更。
- ・「専門ゼミIV」の専任講師1名の辞任及び専任講師2名の追加により、専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」に変更。
- ・授業担当教員が辞任して交代したことにより、「留学準備セミナー」の専任教員等の配置を「講師1」から「兼任・兼任1」に変更。

【平成30年度】

- ・授業担当教員が辞任したことにより、「インテイク・デザインA」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・授業担当教員が辞任したことにより、「インテイク・デザインB」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・授業担当教員が辞任したことにより、「インテイク・デザインC」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・授業担当教員が辞任したことにより、「インテイク・デザインD」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・授業担当教員が辞任したことにより、「インテイク・デザインE」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・授業担当教員が辞任して交代したことにより、「エクステンション・リーディングB」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・授業担当教員が辞任したことにより、「ライティングA」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・授業担当教員が辞任して交代したことにより、「ライティングB」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・授業担当教員が辞任したことにより、「基礎ゼミI」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更。
- ・授業担当教員が辞任したことにより、「基礎ゼミII」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更。
- ・授業担当教員が辞任したことにより、「専門ゼミI」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更。
- ・授業担当教員が辞任したことにより、「専門ゼミII」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授4」に変更。
- ・授業担当教員が辞任し兼任として担当することにより、「専門ゼミIII」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授4」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・授業担当教員が辞任し兼任として担当することにより、「専門ゼミIV」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授4」、「兼任・兼任0」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・「留学準備セミナー」の兼任教員が専任教員となったことにより、専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」、「講師0」から「講師1」に変更。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
22 科目	117 科目	19 科目	158 科目	22 科目 [0]	120 科目 [3]	19 科目 [0]	161 科目 [3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{158} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学校用地の取得 中国短期大学と共用		
	校舎敷地	0㎡	23,142㎡	0㎡	23,142㎡			
	運動場用地	0㎡	17,343㎡ 17,191㎡	0㎡	17,343㎡ 17,191㎡			
	小 計	0㎡	40,485㎡ 40,333㎡	0㎡	40,485㎡ 40,333㎡			
	そ の 他	0㎡	1,586㎡	0㎡	1,586㎡			
	合 計	0㎡	42,071㎡ 41,919㎡	0㎡	42,071㎡ 41,919㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	学内浄化槽の撤去 中国短期大学と共用		
		3,785㎡	18,990㎡ 19,081㎡	3,165㎡	25,940㎡ 26,031㎡			
		(3,785㎡)	(18,990㎡ 19,081㎡)	(3,165㎡)	(25,940㎡ 26,031㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	24室	64室	29室	3室 (補助職員 1人)	1室 (補助職員 1人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成27年4月 専任講師1名就任辞退 のため(27)		
	国際教養学部 国際教養学科			16 17 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	国際教養学部	27,527〔3,826〕 (27,252〔3,748〕)	33〔14〕 (28〔11〕)	8〔8〕 (5〔5〕)	7,500 (7,500)	2,800 (2,800)	0 (0)	
	計	27,527〔3,826〕 (27,252〔3,748〕)	33〔14〕 (28〔11〕)	8〔8〕 (5〔5〕)	7,500 (7,500)	2,800 (2,800)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
	2,030㎡	127	150,000					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	2,182㎡	テニスコート2面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	1,300千円	220千円	286千円
	共同研究費等	1,200千円	1,200千円	設備購入費	2,500千円	2,500千円	2,500千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,290千円	1,040千円	1,040千円	1,040千円	-千円	-千円	
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等					

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	中国学園大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
国際教養学部 国際教養学科	4	80	3年次5	330	学士 (国際教養)	0.33	平成27年度	岡山県岡山市北区庭瀬83番地	
現代生活学部 人間栄養学科	4	80	3年次4	328	学士 (栄養学)	0.76	平成14年度	岡山県岡山市北区庭瀬83番地	
子ども学部 子ども学科	4	70	3年次10	300	学士 (子ども学)	1.20	平成18年度	同上	
現代生活学研究科 人間栄養学専攻	2	5	-	10	修士 (栄養学)	0	平成18年度	同上	
子ども学研究科 子ども学専攻	2	5	-	10	修士 (子ども学)	0.40	平成23年度	同上	
大学の名称	中国短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
総合生活学科	2	85	-	170	短期大学士 (生活学)	0.57	昭和37年度	岡山県岡山市北区庭瀬83番地	
保育学科	2	120	-	240	短期大学士 (保育学)	0.94	昭和39年度	同上	
情報ビジネス学科	2	80	-	160	短期大学士 (経営情報学)	0.76	平成4年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<国際教養学部 国際教養学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
専	学長 教授	松畑 照一 (74) <平成27年4月>
吉備学 郷土が生んだ国際人		
専	教授 (学部長)	梅原 嘉介 (69) <平成27年4月>
現代経済論 I 現代経済論 II Webプログラミング I Webプログラミング II Webプログラミング III 地域開発プロジェクト論 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 専門ゼミ I 専門ゼミ II 専門ゼミ III 専門ゼミ IV		
専	教授 (学部長)	佐生 武彦 (56) <平成27年4月>
異文化コミュニケーション論 コミュニケーション技法 インディペンデント・スタディ B インディペンデント・スタディ C イングリッシュ・ドラマ A イングリッシュ・ドラマ B 時事英語 A 時事英語 B 地域研究 A (北米) 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 専門ゼミ I 専門ゼミ II 専門ゼミ III 専門ゼミ IV ゼミスター留学		
専	教授	岩谷 英昭 (68) <平成27年4月>
国際ビジネスコミュニケーション論 日米関係 キャリア・デザイン I キャリア・デザイン II		
専	教授	Richard J. Lemmer (65) <平成27年4月>
インテグレートド・イングリッ ション A インテグレートド・イングリッ ション B アメリカン・ポップカルチャー エクステンシブ・リーディング A		
専	教授	小野山 和男(嘉木) (65) <平成27年4月>
日本の伝統文化 世界の美術と工芸 ファーストイヤーセミナー I ファーストイヤーセミナー II 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 専門ゼミ I 専門ゼミ II 専門ゼミ III 専門ゼミ IV		
専	教授	大橋 典晶 (55) <平成27年4月>
英語学概論 インディペンデント・スタディ A グラマー&ユーザーセッ ジ ポピュラー・ソング 英語科教育法 I 英語科教育法 II 教育実習 (中) 英語科教育法 IV 教育実習研究 (中) 教職実践演習 (中・高) 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 専門ゼミ I 専門ゼミ II 専門ゼミ III 専門ゼミ IV		
専	教授	神田 榮治 (69) <平成28年4月>
現代社会とビジネス環境論 地域ビジネス論		

【平成27年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
専	学長 教授	松畑 照一 (75) <平成27年4月>
吉備学 郷土が生んだ国際人		
専	教授 (学部長)	梅原 嘉介 (70) <平成27年4月>
現代経済論 I 現代経済論 II Webプログラミング I Webプログラミング II Webプログラミング III 地域開発プロジェクト論 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 専門ゼミ I 専門ゼミ II 専門ゼミ III 専門ゼミ IV		
専	教授 (学部長)	佐生 武彦 (57) <平成27年4月>
異文化コミュニケーション論 コミュニケーション技法 インディペンデント・スタディ B インディペンデント・スタディ C イングリッシュ・ドラマ A イングリッシュ・ドラマ B 時事英語 A 時事英語 B 地域研究 A (北米) 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 専門ゼミ I 専門ゼミ II 専門ゼミ III 専門ゼミ IV ゼミスター留学		
専	教授	岩谷 英昭 (69) <平成27年4月>
国際ビジネスコミュニケーション論 日米関係 キャリア・デザイン I キャリア・デザイン II		
専	教授	Richard J. Lemmer (66) <平成27年4月>
インテグレートド・イングリッ ション A インテグレートド・イングリッ ション B アメリカン・ポップカルチャー エクステンシブ・リーディング A		
専	教授	小野山 和男(嘉木) (66) <平成27年4月>
日本の伝統文化 世界の美術と工芸 ファーストイヤーセミナー I ファーストイヤーセミナー II 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 専門ゼミ I 専門ゼミ II 専門ゼミ III 専門ゼミ IV		
専	教授	大橋 典晶 (56) <平成27年4月>
英語学概論 インディペンデント・スタディ A グラマー&ユーザーセッ ジ ポピュラー・ソング 英語科教育法 I 英語科教育法 II 教育実習 (中) 英語科教育法 IV 教育実習研究 (中) 教職実践演習 (中・高) 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 専門ゼミ I 専門ゼミ II 専門ゼミ III 専門ゼミ IV		
専	教授	神田 榮治 (70) <平成28年4月>
現代社会とビジネス環境論 地域ビジネス論		

【平成28年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
専	学長 教授	松畑 照一 (76) <平成27年4月>
吉備学 郷土が生んだ国際人		
専	教授	梅原 嘉介 (71) <平成27年4月>
現代経済論 I 現代経済論 II Webプログラミング I Webプログラミング II Webプログラミング III 地域開発プロジェクト論 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 専門ゼミ I 専門ゼミ II 専門ゼミ III 専門ゼミ IV 経済学		
専	教授 (中務)	佐生 武彦 (58) <平成27年4月>
異文化コミュニケーション論 コミュニケーション技法 インディペンデント・スタディ B インディペンデント・スタディ C イングリッシュ・ドラマ A イングリッシュ・ドラマ B 時事英語 A 時事英語 B 地域研究 A (北米) 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 専門ゼミ I 専門ゼミ II 専門ゼミ III 専門ゼミ IV ゼミスター留学		
専	教授	岩谷 英昭 (70) <平成27年4月>
国際ビジネスコミュニケーション論 日米関係 キャリア・デザイン I キャリア・デザイン II		
専	教授	Richard J. Lemmer (67) <平成27年4月>
インテグレートド・イングリッ ション A インテグレートド・イングリッ ション B アメリカン・ポップカルチャー エクステンシブ・リーディング A		
専	教授	小野山 和男(嘉木) (67) <平成27年4月>
日本の伝統文化 世界の美術と工芸 ファーストイヤーセミナー I ファーストイヤーセミナー II 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 専門ゼミ I 専門ゼミ II 専門ゼミ III 専門ゼミ IV		
専	教授 (中務)	大橋 典晶 (57) <平成27年4月>
英語学概論 インディペンデント・スタディ A グラマー&ユーザーセッ ジ ポピュラー・ソング 英語科教育法 I 英語科教育法 II 教育実習 (中) 英語科教育法 IV 教育実習研究 (中) 教職実践演習 (中・高) 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 専門ゼミ I 専門ゼミ II 専門ゼミ III 専門ゼミ IV		
専	教授	神田 榮治 (71) <平成28年4月>
現代社会とビジネス環境論 地域ビジネス論		

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
専	学長 教授	松畑 照一 (77) <平成27年4月>
吉備学 郷土が生んだ国際人		
専	教授	梅原 嘉介 (72) <平成27年4月>
現代経済論 I 現代経済論 II Webプログラミング I Webプログラミング II Webプログラミング III 地域開発プロジェクト論 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 専門ゼミ I 専門ゼミ II 専門ゼミ III 専門ゼミ IV 経済学		
専	教授 (中務)	佐生 武彦 (59) <平成27年4月>
異文化コミュニケーション論 コミュニケーション技法 インディペンデント・スタディ B インディペンデント・スタディ C イングリッシュ・ドラマ A イングリッシュ・ドラマ B 時事英語 A 時事英語 B 地域研究 A (北米) 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 専門ゼミ I 専門ゼミ II 専門ゼミ III 専門ゼミ IV ゼミスター留学		
専	教授	岩谷 英昭 (71) <平成27年4月>
国際ビジネスコミュニケーション論 日米関係 キャリア・デザイン I キャリア・デザイン II		
専	教授	Richard J. Lemmer (68) <平成27年4月>
インテグレートド・イングリッ ション A インテグレートド・イングリッ ション B アメリカン・ポップカルチャー エクステンシブ・リーディング A		
専	教授	小野山 和男(嘉木) (68) <平成27年4月>
日本の伝統文化 世界の美術と工芸 ファーストイヤーセミナー I ファーストイヤーセミナー II 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 専門ゼミ I 専門ゼミ II 専門ゼミ III 専門ゼミ IV		
専	教授 (中務)	大橋 典晶 (58) <平成27年4月>
英語学概論 インディペンデント・スタディ A グラマー&ユーザーセッ ジ ポピュラー・ソング 英語科教育法 I 英語科教育法 II 教育実習 (中) 英語科教育法 IV 教育実習研究 (中) 教職実践演習 (中・高) 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 専門ゼミ I 専門ゼミ II 専門ゼミ III 専門ゼミ IV		
専	教授	神田 榮治 (72) <平成28年4月>
現代社会とビジネス環境論 地域ビジネス論		

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
専	学長 教授	松畑 照一 (78) <平成27年4月>
吉備学 郷土が生んだ国際人		
専	教授	梅原 嘉介 (73) <平成27年4月>
現代経済論 I 現代経済論 II Webプログラミング I Webプログラミング II Webプログラミング III 地域開発プロジェクト論 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 専門ゼミ I 専門ゼミ II 専門ゼミ III 専門ゼミ IV 経済学		
専	教授 (中務)	佐生 武彦 (60) <平成27年4月>
異文化コミュニケーション論 コミュニケーション技法 インディペンデント・スタディ B インディペンデント・スタディ C イングリッシュ・ドラマ A イングリッシュ・ドラマ B 時事英語 A 時事英語 B 地域研究 A (北米) 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 専門ゼミ I 専門ゼミ II 専門ゼミ III 専門ゼミ IV ゼミスター留学		
専	教授	岩谷 英昭 (72) <平成27年4月>
国際ビジネスコミュニケーション論 日米関係 キャリア・デザイン I キャリア・デザイン II		
専	教授	Richard J. Lemmer (69) <平成27年4月>
インテグレートド・イングリッ ション A インテグレートド・イングリッ ション B アメリカン・ポップカルチャー エクステンシブ・リーディング A		
専	教授	小野山 和男(嘉木) (69) <平成27年4月>
日本の伝統文化 世界の美術と工芸 ファーストイヤーセミナー I ファーストイヤーセミナー II 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 専門ゼミ I 専門ゼミ II 専門ゼミ III 専門ゼミ IV		
専	教授 (中務)	大橋 典晶 (59) <平成27年4月>
英語学概論 インディペンデント・スタディ A グラマー&ユーザーセッ ジ ポピュラー・ソング 英語科教育法 I 英語科教育法 II 教育実習 (中) 英語科教育法 IV 教育実習研究 (中) 教職実践演習 (中・高) 基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 専門ゼミ I 専門ゼミ II 専門ゼミ III 専門ゼミ IV		
専	教授	神田 榮治 (73) <平成28年4月>
現代社会とビジネス環境論 地域ビジネス論		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	吉田 則夫 (68) ＜平成27年4月＞ 日本語表現
兼任	教授	森上 敏夫 (67) ＜平成27年4月＞ 教職概論
兼任	教授	垂水 共之 (66) ＜平成27年9月＞ 数学概論
兼任	教授	小川 深雪 (65) ＜平成28年4月＞ 教育方法学
兼任	准教授	佐々木 弘記 (55) ＜平成28年4月＞ 教育課程総論 生徒指導の理論と方法 特別活動論 教育方法学
兼任	准教授	村上 淳 (52) ＜平成28年9月＞ 日本の食文化
兼任	准教授	清原 昭子 (44) ＜平成27年9月＞ 経済学
兼任	准教授	中田 周作 (41) ＜平成27年9月＞ ボランティア基礎論 教育原理 教育社会学
兼任	講師	溝田 知茂 (41) ＜平成27年9月＞ 体育実技
兼任	講師	國田 祥子 (35) ＜平成27年4月＞ 心理学 教育心理学 教育相談

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	吉田 則夫 (69) ＜平成27年4月＞ 日本語表現
兼任	教授	森上 敏夫 (68) ＜平成27年4月＞ 教職概論
兼任	教授	垂水 共之 (67) ＜平成27年9月＞ 数学概論
兼任	教授	小川 深雪 (66) ＜平成28年4月＞ 教育方法学
兼任	准教授	佐々木 弘記 (54) ＜平成28年4月＞ 教育課程総論 生徒指導の理論と方法 特別活動論 教育方法学
兼任	准教授	村上 淳 (53) ＜平成28年9月＞ 日本の食文化
兼任	准教授	清原 昭子 (45) ＜平成27年9月＞ 経済学
兼任	准教授	中田 周作 (42) ＜平成27年4月＞ ボランティア基礎論 教育原理 教育社会学
兼任	講師	溝田 知茂 (42) ＜平成27年9月＞ 体育実技
兼任	講師	國田 祥子 (36) ＜平成27年4月＞ 心理学 教育心理学 教育相談

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	上山 伸幸 (27) ＜平成28年4月＞ 日本語表現
兼任	教授	森上 敏夫 (69) ＜平成27年4月＞ 教職概論
兼任	教授	垂水 共之 (68) ＜平成27年9月＞ 数学概論
兼任	教授	小川 深雪 (67) ＜平成28年4月＞ 教育方法学
兼任	教授	佐々木 弘記 (55) ＜平成28年4月＞ 教育課程総論 生徒指導の理論と方法 特別活動論 教育方法学
兼任	教授	村上 淳 (54) ＜平成28年9月＞ 日本の食文化
兼任	准教授	中田 周作 (43) ＜平成27年4月＞ ボランティア基礎論 教育原理 教育社会学
兼任	講師	溝田 知茂 (43) ＜平成27年9月＞ 体育実技
兼任	講師	國田 祥子 (37) ＜平成27年4月＞ 心理学 教育心理学 教育相談

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	池田 満之 (58) ＜平成29年4月＞ 自然科学概論
兼任	講師	上山 伸幸 (28) ＜平成28年4月＞ 日本語表現
兼任	講師	野村 泰介 (38) ＜平成29年4月＞ 教職概論
兼任	教授	垂水 共之 (69) ＜平成27年9月＞ 数学概論
兼任	教授	小川 深雪 (68) ＜平成28年4月＞ 教育方法学
兼任	教授	佐々木 弘記 (56) ＜平成28年4月＞ 教育課程総論 生徒指導の理論と方法 特別活動論 教育方法学
兼任	教授	村上 淳 (55) ＜平成28年9月＞ 日本の食文化
兼任	准教授	中田 周作 (44) ＜平成27年4月＞ ボランティア基礎論 教育原理 教育社会学
兼任	講師	溝田 知茂 (44) ＜平成27年9月＞ 体育実技
兼任	講師	國田 祥子 (38) ＜平成27年4月＞ 心理学 教育心理学 教育相談

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	池田 満之 (59) ＜平成29年4月＞ 自然科学概論
兼任	講師	村井 隆人 (28) ＜平成30年4月＞ 日本語表現
兼任	講師	野村 泰介 (40) ＜平成29年4月＞ 教職概論
兼任	講師	川上 公一 (62) ＜平成30年9月＞ 数学概論
兼任	教授	小川 深雪 (69) ＜平成28年4月＞ 教育方法学
兼任	教授	佐々木 弘記 (57) ＜平成28年4月＞ 教育課程総論 生徒指導の理論と方法 特別活動論 教育方法学
兼任	准教授	小野 尚美 (56) ＜平成30年9月＞ 日本の食文化
兼任	准教授	中田 周作 (45) ＜平成27年4月＞ ボランティア基礎論 教育原理 教育社会学
兼任	講師	溝田 知茂 (45) ＜平成27年9月＞ 体育実技
兼任	講師	國田 祥子 (39) ＜平成27年4月＞ 心理学 教育心理学 教育相談

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	河本 正夫 (66) ＜平成28年4月＞
		現代環境論
兼任	講師	日高 好一 (64) ＜平成28年4月＞
		日本の音楽 世界の音楽
兼任	講師	福森 護 (56) ＜平成28年9月＞
		メディア論
兼任	講師	宋 娘沃 (56) ＜平成27年4月＞
		韓国語
兼任	講師	奥村 英則 (44) ＜平成28年4月＞
		統計学
兼任	講師	DIEU THI BICH HAI (72) ＜平成28年4月＞
		日・アセアン関係 ベトナム語
兼任	講師	澤津 久司 (71) ＜平成28年4月＞
		日本国憲法 知的財産法
兼任	講師	野島 淑子 (70) ＜平成29年9月＞
		道徳教育指導論
兼任	講師	松本 青也 (70) ＜平成27年9月＞
		比較文化論
兼任	講師	高橋 文博 (68) ＜平成29年9月＞
		日本思想史
兼任	講師	永田 諒一 (68) ＜平成29年4月＞
		比較宗教論 西洋思想史 地域研究D(ヨーロッパ)
兼任	講師	米田 博 (66) ＜平成29年4月＞
		国際関係論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	河本 正夫 (67) ＜平成28年4月＞
		現代環境論
兼任	講師	日高 好一 (65) ＜平成28年4月＞
		日本の音楽 世界の音楽
兼任	講師	福森 護 (57) ＜平成28年9月＞
		メディア論
兼任	講師	宋 娘沃 (57) ＜平成27年4月＞
		韓国語
兼任	講師	奥村 英則 (45) ＜平成28年4月＞
		統計学
兼任	講師	DIEU THI BICH HAI (73) ＜平成28年4月＞
		日・アセアン関係 ベトナム語
兼任	講師	澤津 久司 (72) ＜平成28年4月＞
		日本国憲法 知的財産法
兼任	講師	野島 淑子 (71) ＜平成29年9月＞
		道徳教育指導論
兼任	講師	松本 青也 (71) ＜平成27年9月＞
		比較文化論
兼任	講師	高橋 文博 (69) ＜平成29年9月＞
		日本思想史
兼任	講師	永田 諒一 (69) ＜平成29年4月＞
		比較宗教論 西洋思想史 地域研究D(ヨーロッパ)
兼任	講師	米田 博 (67) ＜平成29年4月＞
		国際関係論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	河本 正夫 (68) ＜平成28年4月＞
		現代環境論
兼任	講師	日高 好一 (66) ＜平成28年4月＞
		日本の音楽 世界の音楽
兼任	講師	福森 護 (58) ＜平成28年4月＞
		メディア論 統計学
兼任	講師	宋 娘沃 (58) ＜平成27年4月＞
		韓国語
兼任	講師	澤津 久司 (73) ＜平成28年4月＞
		日本国憲法 知的財産法
兼任	講師	野島 淑子 (72) ＜平成29年9月＞
		道徳教育指導論
兼任	講師	松本 青也 (72) ＜平成27年9月＞
		比較文化論
兼任	講師	高橋 文博 (70) ＜平成29年9月＞
		日本思想史
兼任	講師	永田 諒一 (70) ＜平成29年4月＞
		比較宗教論 西洋思想史 地域研究D(ヨーロッパ)
兼任	講師	米田 博 (68) ＜平成29年4月＞
		国際関係論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	河本 正夫 (69) ＜平成28年4月＞
		現代環境論
兼任	講師	日高 好一 (67) ＜平成28年4月＞
		日本の音楽 世界の音楽
兼任	講師	福森 護 (59) ＜平成28年4月＞
		メディア論 統計学
兼任	講師	宋 娘沃 (59) ＜平成27年4月＞
		韓国語
兼任	講師	澤津 久司 (74) ＜平成28年4月＞
		日本国憲法 知的財産法
兼任	講師	野島 淑子 (73) ＜平成29年9月＞
		道徳教育指導論
兼任	講師	松本 青也 (73) ＜平成27年9月＞
		比較文化論
兼任	講師	高橋 文博 (71) ＜平成29年9月＞
		日本思想史
兼任	講師	永田 諒一 (71) ＜平成29年4月＞
		比較宗教論 西洋思想史 地域研究D(ヨーロッパ)
兼任	講師	油井 義孝 (38) ＜平成29年9月＞
		国際関係論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	河本 正夫 (70) ＜平成28年4月＞
		現代環境論
兼任	講師	日高 好一 (68) ＜平成28年4月＞
		日本の音楽 世界の音楽
兼任	講師	福森 護 (60) ＜平成28年4月＞
		メディア論 統計学
兼任	講師	宋 娘沃 (60) ＜平成27年4月＞
		韓国語
兼任	講師	澤津 久司 (75) ＜平成28年4月＞
		日本国憲法 知的財産法
兼任	講師	小森 順子 (64) ＜平成30年9月＞
		道徳教育指導論
兼任	講師	松本 青也 (74) ＜平成27年9月＞
		比較文化論
兼任	講師	高橋 文博 (72) ＜平成29年9月＞
		日本思想史
兼任	講師	永田 諒一 (72) ＜平成29年4月＞
		比較宗教論 西洋思想史 地域研究D(ヨーロッパ)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	講師	辻 星児 (66) <平成28年9月>
		応用言語学
兼任	講師	福永 信哲 (62) <平成29年9月>
		英米文学概論 英米文学講読
兼任	講師	木村 明美 (62) <平成29年9月>
		日英翻訳演習 日英通訳演習A 日英通訳演習B
兼任	講師	小川 敬治 (58) <平成27年4月>
		情報処理 I 情報処理 II
兼任	講師	秋山 博正 (57) <平成28年4月>
		倫理学
兼任	講師	斉藤 真奈美 (56) <平成28年4月>
		芸術
兼任	講師	梁 蓮子 (54) <平成28年4月>
		日本の文学 美しい日本語
兼任	講師	加藤 せい子 (54) <平成29年4月>
		NPO/NGO論
兼任	講師	永石 雅史 (52) <平成29年9月>
		国際援助論
兼任	講師	中川 浩一 (50) <平成27年9月>
		日本のポップカルチャー 日本アニメ論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	講師	辻 星児 (67) <平成28年9月>
		応用言語学
兼任	講師	福永 信哲 (63) <平成29年9月>
		英米文学概論 英米文学講読
兼任	講師	木村 明美 (63) <平成29年9月>
		日英翻訳演習 日英通訳演習A 日英通訳演習B
兼任	講師	小川 敬治 (59) <平成27年4月>
		情報処理 I 情報処理 II
兼任	講師	秋山 博正 (58) <平成28年4月>
		倫理学
兼任	講師	斉藤 真奈美 (57) <平成28年4月>
		芸術
兼任	講師	梁 蓮子 (55) <平成29年4月>
		日本の文学 美しい日本語
兼任	講師	加藤 せい子 (55) <平成29年4月>
		NPO/NGO論
兼任	講師	永石 雅史 (53) <平成29年9月>
		国際援助論
兼任	講師	中川 浩一 (51) <平成27年9月>
		日本のポップカルチャー 日本アニメ論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	講師	辻 星児 (68) <平成28年9月>
		応用言語学
兼任	講師	福永 信哲 (64) <平成29年9月>
		英米文学概論 英米文学講読
兼任	講師	木村 明美 (64) <平成29年9月>
		日英翻訳演習 日英通訳演習A 日英通訳演習B
兼任	講師	小川 敬治 (60) <平成27年4月>
		情報処理 I 情報処理 II
兼任	講師	小谷 彰吾 (56) <平成28年9月>
		倫理学
兼任	准教授	柏原 寛 (39) <平成28年4月>
		芸術
兼任	講師	渡谷 壽郎 (59) <平成28年4月>
		日本の文学 美しい日本語
兼任	講師	加藤 せい子 (56) <平成29年4月>
		NPO/NGO論
兼任	講師	永石 雅史 (54) <平成29年9月>
		国際援助論
兼任	講師	中川 浩一 (52) <平成27年9月>
		日本のポップカルチャー 日本アニメ論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	講師	辻 星児 (69) <平成28年9月>
		応用言語学
兼任	講師	福永 信哲 (65) <平成29年9月>
		英米文学概論 英米文学講読
兼任	講師	木村 明美 (65) <平成29年9月>
		日英翻訳演習 日英通訳演習A 日英通訳演習B
兼任	講師	小川 敬治 (61) <平成27年4月>
		情報処理 I 情報処理 II
兼任	講師	小谷 彰吾 (57) <平成28年9月>
		倫理学
兼任	准教授	柏原 寛 (40) <平成28年4月>
		芸術
兼任	講師	渡谷 壽郎 (60) <平成28年4月>
		日本の文学 美しい日本語 日本語教育概論 日本語教育法 日本語教育演習
兼任	講師	加藤 せい子 (57) <平成29年4月>
		NPO/NGO論
兼任	講師	横山 明子 (37) <平成29年9月>
		国際援助論
兼任	講師	中川 浩一 (53) <平成27年9月>
		日本のポップカルチャー 日本アニメ論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	講師	井上 あるか (54) <平成30年9月>
		国際援助論
兼任	講師	辻 星児 (70) <平成28年9月>
		応用言語学
兼任	講師	福永 信哲 (66) <平成29年9月>
		英米文学概論 英米文学講読
兼任	講師	木村 明美 (66) <平成29年9月>
		日英翻訳演習 日英通訳演習A 日英通訳演習B
兼任	講師	小川 敬治 (62) <平成27年4月>
		情報処理 I 情報処理 II
兼任	講師	小谷 彰吾 (58) <平成28年9月>
		倫理学
兼任	准教授	柏原 寛 (41) <平成28年4月>
		芸術
兼任	講師	渡谷 壽郎 (61) <平成28年4月>
		日本の文学 美しい日本語 日本語教育概論 日本語教育法 日本語教育演習
兼任	講師	佐々木 幸喜 (32) <平成30年4月>
		日本の文学
兼任	講師	加藤 せい子 (58) <平成29年4月>
		NPO/NGO論
兼任	講師	横山 明子 (38) <平成29年9月>
		国際援助論
兼任	講師	中川 浩一 (54) <平成27年9月>
		日本のポップカルチャー 日本アニメ論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	講師	ハーデン 京子 (50) <平成27年9月> インテグレート・イングリッシュB インテグレート・イングリッシュC インテグレート・イングリッシュE
兼任	講師	石原 信也 (49) <平成27年4月> 生活と情報処理
兼任	講師	平井 ケスタ (49) <平成28年4月> タイ語
兼任	講師	福原 史子 (49) <平成29年4月> 児童英語教授法 児童英語演習
兼任	講師	中西 盛磨 (46) <平成29年4月> ネットワークと情報の管理Ⅰ ネットワークと情報の管理Ⅱ Webアプリ開発Ⅰ Webアプリ開発Ⅱ
兼任	講師	アントン・ポットギター (45) <平成27年4月> インテグレート・イングリッシュA インテグレート・イングリッシュB インテグレート・イングリッシュC インテグレート・イングリッシュF
兼任	講師	畑木 亦梅 (44) <平成27年4月> 中国語
兼任	講師	土田 豊 (43) <平成27年9月> 体育講義
兼任	講師	赤木 竜也 (42) <平成27年4月> 情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ
兼任	講師	橋 真由美 (42) <平成29年9月> Webデザイン論
兼任	講師	鈴木 真 (41) <平成29年4月> 日・東アジア関係
兼任	講師	西脇 藍 (37) <平成27年4月> 日本文化論
兼任	講師	大平 真紀子 (34) <平成27年4月> 日本事情 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	講師	ハーデン 京子 (51) <平成27年9月> インテグレート・イングリッシュB インテグレート・イングリッシュC インテグレート・イングリッシュE
兼任	講師	石原 信也 (50) <平成27年4月> 生活と情報処理
兼任	講師	平井 ケスタ (50) <平成28年4月> タイ語
兼任	講師	福原 史子 (50) <平成29年4月> 児童英語教授法 児童英語演習
兼任	講師	中西 盛磨 (47) <平成29年4月> ネットワークと情報の管理Ⅰ ネットワークと情報の管理Ⅱ Webアプリ開発Ⅰ Webアプリ開発Ⅱ
兼任	講師	アントン・ポットギター (46) <平成27年4月> インテグレート・イングリッシュA インテグレート・イングリッシュB インテグレート・イングリッシュC インテグレート・イングリッシュF
兼任	講師	畑木 亦梅 (45) <平成27年4月> 中国語
兼任	講師	土田 豊 (44) <平成27年9月> 体育講義
兼任	講師	赤木 竜也 (43) <平成27年4月> 情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ
兼任	講師	橋 真由美 (43) <平成29年9月> Webデザイン論
兼任	講師	鈴木 真 (42) <平成29年4月> 日・東アジア関係
兼任	講師	西脇 藍 (38) <平成27年4月> 日本文化論
兼任	講師	大平 真紀子 (35) <平成27年4月> 日本事情 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	講師	ハーデン 京子 (52) <平成27年9月> インテグレート・イングリッシュB インテグレート・イングリッシュC インテグレート・イングリッシュE
兼任	講師	石原 信也 (51) <平成27年4月> 生活と情報処理
兼任	講師	平井 ケスタ (51) <平成28年4月> タイ語
兼任	講師	福原 史子 (51) <平成29年4月> 児童英語教授法 児童英語演習
兼任	講師	中西 盛磨 (48) <平成29年4月> ネットワークと情報の管理Ⅰ ネットワークと情報の管理Ⅱ Webアプリ開発Ⅰ Webアプリ開発Ⅱ
兼任	講師	アントン・ポットギター (47) <平成27年4月> インテグレート・イングリッシュA インテグレート・イングリッシュB インテグレート・イングリッシュC インテグレート・イングリッシュF
兼任	講師	畑木 亦梅 (46) <平成27年4月> 中国語
兼任	講師	土田 豊 (45) <平成27年9月> 体育講義
兼任	講師	赤木 竜也 (44) <平成27年4月> 情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ
兼任	講師	橋 真由美 (44) <平成29年9月> Webデザイン論
兼任	講師	鈴木 真 (43) <平成29年4月> 日・東アジア関係
兼任	講師	西脇 藍 (39) <平成27年4月> 日本文化論
兼任	講師	長畑 太子 (44) <平成28年4月> 日本事情 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	講師	ハーデン 京子 (53) <平成27年9月> インテグレート・イングリッシュB インテグレート・イングリッシュC インテグレート・イングリッシュE
兼任	講師	石原 信也 (52) <平成27年4月> 生活と情報処理
兼任	講師	平井 ケスタ (52) <平成28年4月> タイ語
兼任	講師	福原 史子 (52) <平成29年4月> 児童英語教授法 児童英語演習
兼任	講師	中西 盛磨 (49) <平成29年4月> ネットワークと情報の管理Ⅰ ネットワークと情報の管理Ⅱ Webアプリ開発Ⅰ Webアプリ開発Ⅱ
兼任	講師	アントン・ポットギター (48) <平成27年4月> インテグレート・イングリッシュA インテグレート・イングリッシュB インテグレート・イングリッシュC インテグレート・イングリッシュF
兼任	講師	畑木 亦梅 (47) <平成27年4月> 中国語
兼任	講師	土田 豊 (46) <平成27年9月> 体育講義
兼任	講師	赤木 竜也 (45) <平成27年4月> 情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ
兼任	講師	橋 真由美 (45) <平成29年9月> Webデザイン論
兼任	講師	鈴木 真 (44) <平成29年4月> 日・東アジア関係
兼任	講師	西脇 藍 (40) <平成27年4月> 日本文化論
兼任	講師	蓮井 純子 (54) <平成29年4月> 日本事情 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	講師	ハーデン 京子 (54) <平成27年9月> インテグレート・イングリッシュB インテグレート・イングリッシュC インテグレート・イングリッシュE
兼任	講師	石原 信也 (53) <平成27年4月> 生活と情報処理
兼任	講師	平井 ケスタ (53) <平成28年4月> タイ語
兼任	講師	福原 史子 (53) <平成29年4月> 児童英語教授法 児童英語演習
兼任	講師	中西 盛磨 (50) <平成29年4月> ネットワークと情報の管理Ⅰ ネットワークと情報の管理Ⅱ Webアプリ開発Ⅰ Webアプリ開発Ⅱ
兼任	講師	アントン・ポットギター (49) <平成27年4月> インテグレート・イングリッシュA インテグレート・イングリッシュB インテグレート・イングリッシュC インテグレート・イングリッシュF
兼任	講師	畑木 亦梅 (48) <平成27年4月> 中国語
兼任	講師	土田 豊 (47) <平成27年9月> 体育講義
兼任	講師	赤木 竜也 (46) <平成27年4月> 情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ
兼任	講師	橋 真由美 (46) <平成29年9月> Webデザイン論
兼任	講師	西脇 藍 (41) <平成27年4月> 日本文化論
兼任	講師	蓮井 純子 (55) <平成29年4月> 日本事情 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成27年度】

- ・藤居真路講師就任辞退により、藤代昇文講師に変更。平成27年7月AC教員審査済み。
- ・入江 泉教授就任辞退により、岸 誠一教授に変更。
- ・「ボランティア基礎論」の開講時期を変更したことにより、中田周作准教授の就任が平成27年9月から平成27年4月に変更。
- ・認可時、担当教員が未定であった「ベンチャー起業論」の担当が、黒田永久講師に決定した事による変更。

【平成28年度】

- ・清原昭子准教授辞任により、「経済学」の担当を梅原嘉介教授に変更。平成28年7月AC教員審査済み。
- ・平成28年5月、梅原嘉介教授学部長退任。
- ・平成28年6月、佐武彦教授学部長就任。
- ・平成28年6月、大橋典晶教授学部長退任。
- ・日野正輝教授の担当授業科目「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」追加。平成28年7月AC教員審査済み。
- ・橋本和久教授就任辞退により、大城隼人講師に変更。平成28年7月AC教員審査済み。「財務会計とファイナンス論」は不可。後任未定。平成29年9月から兼任教員採用予定。
- ・藤代昇文講師の担当授業科目「専門ゼミⅠ」「専門ゼミⅡ」「専門ゼミⅢ」「専門ゼミⅣ」追加。平成28年7月AC教員審査済み。
- ・福田衣里講師の担当授業科目「専門ゼミⅠ」「専門ゼミⅡ」「専門ゼミⅢ」「専門ゼミⅣ」追加。平成28年7月AC教員審査済み。
- ・吉田剛夫教授辞任により、上山伸幸講師に変更。
- ・佐々木弘記准教授の職名が教授に変更。
- ・村上 淳准教授の職名が教授に変更。
- ・奥村英則講師就任辞退により、「統計学」の担当を福森 謹講師に変更。
- ・DIEU THI BICH HAI講師就任辞退により、PHAM THI NU講師に変更。
- ・秋山博正講師の就任辞退により、小谷彰吾講師に変更。
- ・斉藤真奈美講師就任辞退により、柏原 寛准教授に変更。
- ・梁 蓮子講師就任辞退により、澁谷壽郎講師に変更。
- ・大平真紀子講師辞任により、長畑太子講師に変更。

【平成29年度】

- ・PHAM THI NU講師辞任により、「日・アセアン関係」の担当を日野正輝教授に変更。平成29年7月AC教員審査済み。
- ・大城隼人講師の担当授業科目「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」「専門ゼミⅠ」「専門ゼミⅡ」「専門ゼミⅢ」「専門ゼミⅣ」追加。平成29年7月AC教員審査済み。
- ・福田衣里講師辞任により、松浦加寿子講師に変更。平成29年7月AC教員審査済み。
- ・岸 誠一教授辞任により、池田満之准教授に変更。
- ・森上敬夫教授辞任により、野村泰介講師に変更。
- ・PHAM THI NU講師辞任により、「ベトナム語」の担当をチャン・グイ・エト・ク講師に変更。
- ・米田 博講師就任辞退により、油井美春講師に変更。
- ・澁谷壽郎講師の担当授業科目「日本語教育概論」「日本語教育法」「日本語教育演習」追加。
- ・永石雅史講師就任辞退により、横山明子講師に変更。
- ・長畑太子講師辞任により、蓮井純子講師に変更。
- ・平成29年4月サモーン・ソリ講師就任。

【平成30年度】

- ・クリスチャン・バロウス准教授辞任により、「エクステンシブ・リーディングB」「ライティングB」の担当を山本ルイ准教授に変更。また、「専門ゼミⅢ」「専門ゼミⅣ」をクリスチャン・バロウスが兼任講師として担当する事による変更。平成30年9月より山本ルイ准教授が専任教員として就任予定。平成30年6月変更書提出予定。
- ・上山伸幸講師辞任により、村井隆人講師に変更。
- ・垂水共之教授辞任により、川上公一講師に変更。
- ・村上 淳教授辞任により、小野尚美准教授に変更。
- ・野島淑子講師辞任により、小森順子講師に変更。
- ・油井美春講師辞任により、井上あえか講師に変更。
- ・「日本の文学」の担当を澁谷壽郎講師から佐々木幸喜講師に変更。
- ・鈴木 真講師辞任により、富田 暁講師に変更。
- ・斎藤夏来講師就任辞退により、吉永隆記講師に変更。
- ・サモーン・ソリ講師辞任により、ホー・ル・アソニー・ワソ講師に変更。
- ・後任未定であった「財務会計とファイナンス論」の担当に、服部かおり講師が就任する事による変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学級等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
10	5	2	0	17	9	4	3	0	16	9	4	3	0	16
(7)	(4)	(1)	(0)	(12)						[△1]	[△1]	[1]	[0]	[△1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
63 歳	6 名	6 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{17} = \boxed{94.11} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{6}{16} = \boxed{37.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	講師	藤居 真路	選択	インディペンデントｽﾀｼﾞA	①	一身上の都合のため就任辞退 (27)	
			選択	インディペンデントｽﾀｼﾞB	①		
			選択	インディペンデントｽﾀｼﾞC	①		
			選択	インディペンデントｽﾀｼﾞD	①		
			選択	英語プレゼンテーションA	①		
			選択	英語プレゼンテーションB	①		
			選択	英検演習	①		
			自由	教育実習(高)	①		
			自由	教育実習研究(高)	①		
			自由	教職実践演習(中・高)	①		
			必修	基礎ゼミⅠ	①		
選択	基礎ゼミⅡ	①					
2	教授	橋本 和久	選択	簿記会計論Ⅰ	①	一身上の都合のため就任辞退 (28)	
			選択	簿記会計論Ⅱ	①		
			選択	財務会計とファイナンス論	②		
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
2	人	必修	1 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	11 科目	選択	10 科目	選択	1 科目
		自由	3 科目	自由	3 科目	自由	0 科目
		計	15 科目	計	14 科目	計	1 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) 一② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	講師	福田 衣里	必修	インテグレート・イングリッシュA	①	H29.3.31付け結婚のため辞任(29)			
			必修	インテグレート・イングリッシュC	①				
			選択	インテグレート・イングリッシュD	①				
			選択	インテグレート・イングリッシュF	①				
			必修	ファーストイヤーセミナーI	①				
			必修	ファーストイヤーセミナーII	①				
			選択	TOEFL演習	①				
			選択	留学準備セミナー	①				
			必修	基礎ゼミI	①				
			選択	基礎ゼミII	①				
			必修	専門ゼミI	①				
			必修	専門ゼミII	①				
			必修	専門ゼミIII	①				
			必修	専門ゼミIV	①				
2	准教授	クリスチャン・パロウズ	必修	インテグレート・イングリッシュA	①	H30.3.31付け一身上の都合のため辞任(30)			
			必修	インテグレート・イングリッシュB	①				
			必修	インテグレート・イングリッシュC	①				
			選択	インテグレート・イングリッシュD	①				
			選択	インテグレート・イングリッシュE	①				
			選択	エクステンシブ・リーディングB	①				
			選択	ライティングA	①				
			選択	ライティングB	①				
			必修	基礎ゼミI	①				
			選択	基礎ゼミII	①				
			必修	専門ゼミI	①				
			必修	専門ゼミII	①				
			必修	専門ゼミIII	①				
			必修	専門ゼミIV	①				
合計(F)			後任補充状況の集計(G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2	人	必修	17 科目	必修	17 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	11 科目	選択	11 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	28 科目	計	28 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) 一③ 上記(3)一① ・ (3)一② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
4	人	必修	18 科目	必修	18 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	22 科目	選択	21 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	3 科目	自由	3 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	43 科目	計	42 科目	計	1 科目	計	0 科目

(3) 一④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)一③合計(D)+(F)}{(2)一②設置時の計画(A)} = \frac{4}{17} = 23.52\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

藤居真路講師が平成27年4月就任辞任した事に係る担当授業科目に対する措置として、平成27年9月就任予定の藤代昇丈講師が担当する。平成27年度前期担当科目である「インディペンデント・スタディA」は他に担当教員が2名、「英検演習」は他に担当教員が1名いるため、授業に支障はない。
 以上の措置により、学生の履修等への影響はないと考える。また、学生の履修登録ガイダンスにおいて担当教員変更を周知する。(27)
 橋本和久教授が平成28年4月就任辞任した事に係る担当授業科目に対する措置として、平成28年9月就任予定の大城隼人講師が担当する。平成28年度前期担当科目である「簿記会計論I」は、臨時的対応措置で大城隼人講師が兼任講師として担当するため授業に支障はない。
 以上の措置により、学生の履修等への影響はないと考える。また、学生の履修登録ガイダンスにおいて担当教員変更を周知する。(28)
 平成29年度後期開講科目である「財務会計とファイナンス論」は、平成28年7月のAC教員審査において、不可(兼任補充可)の判定であった。現在、後任未定であるが後期開講時までに兼任教員を採用し、学生の履修等への影響がないよう対応する。
 福田衣里講師が平成29年3月辞任した事に係る担当授業科目に対する措置として、平成29年9月就任予定の松浦加寿子講師が担当する。平成29年度前期担当科目である「留学準備セミナー」は、臨時的対応措置で松浦加寿子講師が兼任講師として担当するため授業に支障はない。
 以上の措置により、学生の履修等への影響はないと考える。また、学生の履修登録ガイダンスにおいて担当教員変更を周知する。(29)
 クリフ・パロウ准教授が平成30年3月辞任した事に係る担当授業科目に対する措置として、平成30年9月就任予定の山本ケイ准教授が担当する。平成30年度前期担当科目である「インテグレート・イングリッシュA」は他に担当教員が4名、「インテグレート・イングリッシュC」は他に担当教員が4名、「インテグレート・イングリッシュE」は他に担当教員が2名、「基礎ゼミI」は他に担当教員が12名、「専門ゼミI」は他に担当教員が12名いるため、授業に支障はない。「エクステンシブ・リーディングB」「ライティングB」は、臨時的対応措置で山本ケイ准教授が兼任准教授として担当するため授業に支障はない。「専門ゼミIII」「専門ゼミIV」は教育的配慮から平成30年度に限り、クリフ・パロウ講師が、兼任講師として担当する。
 以上の措置により、学生の履修等への影響はないと考える。また、学生の履修登録ガイダンスにおいて担当教員変更を周知する。(30)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成26年10月)	<p>・本学部においては、地域（ローカル）から世界（グローバル）へ発信していく新しい「地域発のグローバル人材」の育成を目指し、自己のローカルの発想を相対化する能力を身に付けるとしている。このことに関して、自己の地域に密着した知識を相対化することについては説明されているが、それをどのようにしてグローバルに活かすのか不明である。また「自己と他者との、いわば『異文化』的つながりの理解に基づいて、それぞれ個性を持ったローカル間の、より大きな『異文化』的つながりを認識することを基盤とする」とあるが、「『異文化』的つながり」についても説明がない。以上のように、本学部の養成する人材像の説明において、不十分な点が見受けられることから、対外的な説明等において養成する人材像を明確化し説明できるようにすること。</p>	<p>留意事項</p> <p>本学部は、「自己を含むローカルの発想から出発する」視点をもつことが重要であると考えており、ここでのローカルの定義は、個人が所属する「集団」や「地域」、あるいは「国」である。自己の地域に密着した知識を相対化する技法については、「桃太郎伝説」を例に挙げ、自己が所属する地域によって、桃太郎が「善玉」にも「悪玉」にも捉えられる背反する視点があることを述べ、自己の視点・発想だけではなく、他者、他者が所属する「集団」や「地域」、あるいは「国」にもそれぞれローカルな視点が存在することに気づくことが大切であり、学生は異質な文化との交流に際して、他者のローカルの視点を尊重すべきであると記した。</p> <p>自己の地域に密着した知識を相対化する能力をグローバルに活かす方法とは、すでに述べたことであるが、より大きなローカルである文化（或いは国）レベルでの交流に際して、相対する他者には常に自文化のローカル・ノーレッジとは異なるものが存在するであろうという認識を忘れず、その他者が属する文化のローカル・ノーレッジについて「内在的理解」、つまり相手の尺度を用いて理解することに努めることである。その理解に当たっては、勝手な推測による独断を排除し、言語を介した探求でなければならない。また、その内在的理解を通して、双方が歩み寄ることで両者が寄って立つことの出来る、所謂「第三の文化」を構築して行くことが重要となる。</p> <p>自己と他者との「異文化」的つながりとは、同一文化内の自己と他者（例えば、日本人同士）もそれぞれの個を形成するバックグラウンドの違いにより、互いにある種の「異文化」と考えることが出来るが、その自己と他者の相互作用を「異文化的つながり」と呼んでいる。実際に異文化と対峙する前の疑似体験として、本学部では、「世代」も一つの文化として捉え、</p>	履行済

			<p>異世代間のコミュニケーションを学生に奨励している。同様に、学生には同世代の同じ日本人同士であれ、興味や関心から、思想や信条に至るまで、まずは「同じではない」という前提から始めることを勧めている。この前提は、さらなる大きな「異文化的つながり」、つまり、本来の意味での「異文化交流」の場で大いに力を発揮するものと思われる。</p> <p>「グローバル化」というと、西洋文化の受け入れや追随といった受け身の意味合いを抱く懸念があるが、本学部では、日本の国民であるというアイデンティティの確立と地域や日本の文化などへの深い理解の上に立って、諸外国との議論や交渉を含むコミュニケーションが図れる能力をもった人材を育成することを念頭に、地域（ローカル）から世界（グローバル）へ発信していく「地域発のグローバル人材」の育成を行う。言い換えれば、「グローバル・スタンダード」と言われる「諸々の基準」の形成に、日本人である学生にも参加できる能力を備えた人材に育てることである。米国や西洋諸国による「出来合の基準」に合わせるだけの行為には、自らのローカルを否定する心性が覗えるだけでなく、欧米以外の諸文化が育んだ、潜在的に良質なグローバル・スタンダードになり得る彼等のローカルをも無視する偏見が潜んでいるように思われる。従って、本学部では、このような偏狭な心性からは自由な、良きローカルをグローバルに昇華させることが出来る人材の育成を目指すものである。</p> <p>(27)</p>	
<p>設置時 (平成26年10月)</p>	<p>・教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開講時までに教員を充足すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>教員の補充を必要とされた授業科目である「ベンチャー起業論」については、科目開講時の4年前期（平成30年4月）に黒田永久 兼任講師を補充した。</p> <p>(30)</p>	<p>履行済</p>
<p>設置計画履行状況調査時 (平成28年2月)</p>	<p>・国際教養学部国際教養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>平成27年度開設した国際教養学部は、認可を受けた翌日から全教職員一丸となって、学生確保に取り組んだが、最終的には21名の入学者にとどまった。また、平成28年度の入学者は26名であった。その要因は次の2点が大きいと認</p>	<p>未履行</p> <p>新学部の広報予算を確保し、学生確保に向け「他大学にない強み」をアピールすることで高校生や保護者に訴えかけるような新たな働きかけを実施する。</p> <p>①国際ビジネス、国際文化面における広報の強化。 ②公務員講座の指導を実</p>

			<p>識している。</p> <p>①遅い時期のAO入試を実施したが専願ということもあって志願者がいなかったこと。</p> <p>②具体的な就職先が見えないことや実績が数値としていないことなどが高校生や保護者に対し不安要因となり、本学のアピールが響かなかったのだと考える。</p> <p><学部の認知度・理解度・出願数アップに繋がる取り組み></p> <p>①商業高校への訪問の際、Javaを利用した教育の実施をアピール。</p> <p>②英語でコミュニケーションを行う「イングリッシュ・カフェ」に、教員の担当時間を決め学生の対応を行う。</p> <p>③ホームページの改修、スマートフォンを利用した広報活動にウェイトを置くことにより高校生の興味をひく。</p> <p>④大学案内の3月中配布で、次の入学者への「早期アプローチ」を図る。(28)</p>		<p>施。</p> <p>③国際ビジネスを中心とする商業系の高校に重点を置き、訪問する。</p> <p>④姉妹校や提携校との様々な研修・交流を通して、国際的に活躍するために必要な資質を身につける研修プログラム「総合国際交流プログラム」を充実させ、広報を行う。</p> <p>⑤高校教員を対象とした「入試説明会」で、教員が得たい具体的な内容に多くふれることで、学部内容をより深く理解できるように務める。「入試説明会」の内容改善を図ることで高校教員との信頼関係を築く。</p> <p>⑥高校での「出前講座」が可能であることをアピールし、高校生、高校側との接点を構築する。</p> <p>⑦オープンキャンパスの内容の抜本的改善。高校生と関わるあらゆる場面を利用して、在校生から直接高校生へ実体験等を話し、アピールする。</p> <p>⑧学生が母校を訪問し、学部の情報や近況報告をする際に「学部通信」を持参し、在学生在が認知度を上げる役割を担うことで、高校との結びつきを強化する。(28)</p>
<p>設置計画履行状況調査時 (平成28年2月)</p>	<p>・国際教養学部国際教養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>国際教養学部における教員の年齢構成は、50代から70代の学識と経験豊かな教授陣と、他方において実践研究を担う若手研究者、実社会での実務経験を生かした授業が可能な教員を配置したことに伴い、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員で、当該学部の完成年度までにこの規程に抵触する者が在籍することとなった。今後の教員構成については、現在も若年教員として活躍できる人材の発掘に務めている。(28)</p>	<p>未履行</p>	<p>定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の雇用の件について、完成年度後においては、計画的な世代交替を考慮に入れた上で、継続性のある教育、研究の推進をも検討し、本学部にふさわしい定年規程にあった人材として若手研究者の採用に務める。公募で人材を求めるとすることとする。(28)</p>
<p>設置計画履行状況調査時 (平成28年2月)</p>	<p>・既設学部等（中国短期大学総合生活学科、情報ビジネス学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>定員充足に向けて、入試広報部を中心に学科教員との情報交換等募集・広報戦略を見直し学生確保に取り組んだが、依然この2学科においては厳しい状況にある。</p> <p>全教職員の現状認識はもちろん、将来構想検討会議を設置して短大の在り方を検討している。</p> <p><現在の改善状況></p> <p>○総合生活学科</p> <p>①在学生の母校訪問による学科の内容説明の実施強化。</p>	<p>未履行</p>	<p>平成27年度には「中国短期大学将来構想検討会議」を4回開催し、見直し案を中間報告として教授会、理事会においても行った。</p> <p>存続に向けた努力を続ける中で、新しい高等教育機関の方向についても検討をし、早急な対応策を練る必要がある。そこで、外部の者を入れた検討会議を立ち上げ、学生確保に向けた改善策を検討する。(28)</p>

		<p>②セカンドパンフレットに具体的な履修モデルを掲載し、高校生にアピールする。</p> <p>③入学定員消滅の見直しについて検討する。</p> <p>○情報ビジネス学科</p> <p>①必修科目2科目を8～9科目へ変更。フィールド&ユニット制への移行。</p> <p>②これまでの反省から、簿記関連科目において、能力別クラスを設置。</p> <p>③学習に遅れている学生への学習支援の実施。</p> <p>④映像コンテスト等にも積極的に参加する。</p> <p>⑤オープンキャンパス、ホームページをわかりやすく、魅力的にする。(28)</p>	
<p>設置計画履行状況調査時 (平成29年2月)</p>	<p>・国際教養学部国際教養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満と なっていることから、 学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p> <p>平成27年度開設した国際教養学部は、認可を受けた翌日から全教職員一丸となって、学生確保に取り組んでいるが、初年度の入学者は21名、28年度は26名、29年度は22名と定員の充足率の3割を切っている。その要因は次のことが考えられる。</p> <p>①学科が取り組んでいる内容が高校生や高校教員に対して理解が深まっていないこと。</p> <p>②前半入試（AO入試、公募推薦入試、指定校推薦入試）の志願者が伸び悩んでいること。</p> <p>③具体的な就職先が見えないことや実績が数値としてないことが高校生や保護者に対して不安要因となり、本学のアピールが響かなかったこと。</p> <p>④平成27年度から継続して29年度に至るまで、SNSを駆使した広報活動が十分に機能していないこと。</p> <p><学部の認知度・理解度・出願数アップに繋がる取り組み></p> <p>①授業や産学官で取り組んでいる内容を動画に編集し、高校訪問で高校生や高校教員に紹介し、理解度を深めている。</p> <p>②学部のフェイスブック上で、学部が主催する各種行事やイベントを紹介する。</p> <p>③学部内の取組や学生生活等の動画を作成し、YouTubeに掲載する。</p> <p>④英語でコミュニケーションを行う「イングリッシュ・カフェ」に教員の担当時間を決め学生の対応を行う。</p> <p>⑤「うたごえキャラバン」など学生による社会貢献の</p>	<p>未履行</p> <p>学生確保に向け「他大学にない強み」をアピールすることで高校生や保護者に訴えかけるような新たな働きかけを実施する。</p> <p>①高校と連携し、キャリア教育・英語教育等に関する講演を通して学部の認知度を高める。</p> <p>②国内外の企業・大学と連携し、研究活動を実施し、SNS等を介して発信することで学部の認知度を高める。</p> <p>③産学官連携の授業とインターンシップでの実践教育を通して「就職については未知数」という不安を払拭させる。</p> <p>④学部で取り組んでいる「進路サポート・プロジェクト（公務員、教員、国際ボランティア、国際貿易、英語力強化等）」を喧伝し、学部の良さである「一人ひとりを気に掛ける」を広くアピールする。</p> <p>⑤学部主催のシンポジウムを開催し、研究・教育面における学部の取組を紹介する。</p> <p>⑥フェイスブック、YouTube等を活用し、学生の成長の様子や日常的な学部の取組を知って貰い学部の魅力をアピールする。</p> <p>⑦在学生による母校訪問を実施し、英語によるプレゼンテーション等を介して、学生の成長を伝え、本学部への潜在的な受験生を増やす。</p> <p>⑧学部がこれまでに取り組んできた「総合国際交流プロジェクト」を更に充実させて、学内外で実施される「どっぴり異文化交流」をアピールする。</p> <p>⑨高校での「出前講座」が可能であることをアピールし、高校生、高校側との接</p>

			<p>輪を広げる。</p> <p>⑥在学生の声を記載した在学生目録のチラシを作成する。</p> <p>⑦産学連携の取組を実施し、テレビ・新聞等のメディアに取り上げられることに努める。(29)</p>		<p>点を構築する。</p> <p>更に、平成29年4月に「中国学園大学将来構想検討委員会」を立ち上げ、学生確保や入学定員の見直しについて検討することにしており、第1回委員会では、「一人一人を大事にする教育が重要」、「国際教養学部強みの見える形にする」などの意見が出された。(29)</p>
<p>設置計画履行状況調査時 (平成29年2月)</p>	<p>・国際教養学部国際教養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	改善意見	<p>国際教養学部における教員の年齢構成は、50代から70代の学識と経験豊かな教授陣と、他方において実践研究を担う若手研究者、実社会での実務経験を生かした授業が可能な教員を配置したことに伴い、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員で、当該学部の完成年度までにこの規程に抵触する者が在籍することとなった。今後の教員構成については、現在も若年教員として活躍できる人材の発掘に努めている。(29)</p>	未履行	<p>定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の雇用については、完成年度後においては、計画的な世代交替を考慮に入れた上で、継続性のある教育、研究の推進をも検討し、本学部にふさわしい定年規程にあった人材として若手研究者の採用に努める。平成29年度中に公募で人材を求めるときの公募要件をまとめる。(29)</p>
<p>設置計画履行状況調査時 (平成29年2月)</p>	<p>・同一設置者が設置する既設学部等(中国短期大学総合生活学科、情報ビジネス学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	改善意見	<p>定員充足に向けて、両学科及び入試広報部において学科の特長化や広報戦略の見直し等の学生確保の取組を進め、依然として厳しい状況ではあるが、情報ビジネス学科は平成29年5月1日現在の定員充足率が0.7倍を超えた。</p> <p><現在の改善状況></p> <p>○総合生活学科</p> <p>①2コース制へ改編すると同時に医療事務コースを選抜制とし社会的認知度向上を進める。</p> <p>②必修科目に社会的教養に関する3科目を加え、学科の目指すところをより分かりやすくし、かつ学生のレベル向上を図る。</p> <p>③資格取得者の「声」パンフレットを作成し、学生の目標・目的意識を高めることを促すとともに対外的認知度向上も進める。</p> <p>④オープンキャンパス、学校訪問、ホームページなどで学科の特長及び魅力をより分かりやすくアピールしていく。</p> <p>○情報ビジネス学科</p> <p>①必修科目を平成29年度より、これまでの2科目から10科目に変更した。ま</p>	未履行	<p>平成28年度には学内外の有識者で構成した「中国短期大学将来構想検討委員会」を4回開催し、学生確保に向けた改善策を検討し、各学科の特徴的な学習内容、カリキュラム、教育方法等を見直す報告書が提出され、現在、この改善策を強力に進めている。今後も学生確保への改善策を継続して進めるが、併せて入学定員についても見直しに着手する。(29)</p>

		<p>た、コース制からフィールド&ユニット制に変更し、幅広く専門的な学修を効率的に行うための独自のシステムを導入した。</p> <p>②簿記関連科目においては、初心者クラスと経験者クラスに分け、学生それぞれのレベルに応じた学修を可能にした。</p> <p>③留学生が増加した関係もあり、学修状況に応じた個別の学修支援体制を強化した。</p> <p>④地域のイベントやボランティア活動などに積極的に参加し、学科の知名度アップを目指した。</p> <p>⑤学科の実践活動の一環として取り組んでいるテレビ・ラジオの番組制作においては学科のPRになるようなコンテンツを取り入れて放送するように工夫した。</p> <p>⑥オープンキャンパスで実施している体験授業では、ブースを2種類用意して、参加者に選択してもらうようにした。これにより複数回参加する高校生が増加した。</p> <p>⑦チラシや動画CMを制作し、配布やインターネットへのアップによって知名度向上を目指した。(29)</p>	
<p>設置計画履行状況調査時 (平成30年2月)</p>	<p>・国際教養学部国際教養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満と なっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p> <p>平成27年度開設した国際教養学部は、認可を受けた翌日から全教職員一丸となって、学生確保に取り組んでいるが、初年度の入学者は21名、28年度は26名、29年度は22名と定員の充足率が3割を切っていたが、30年度は38名と厳しい状況ではあるが5割に近づいた。設置から3年が経過し認知度が多少上がってきたものと見受けられる。</p> <p><学部の認知度・理解度・出願数アップに繋がる取り組み></p> <p>学生確保に向け「他大学にない強み」をアピールすることで高校生や保護者に訴えかけるような新たな働きかけを実施する。</p> <p>①高校と連携し、キャリア教育・英語教育等に関する講演を通して学部の認知度を高める。</p> <p>②国内外の企業・大学と連携し、研究活動を実施し、SNS等を介して発信することで学部の認知度を高める。</p> <p>③産学官連携の授業とインターンシップでの実践教育を通して「就職については</p>	<p>未履行</p> <p>平成29年4月に「中国学園大学将来構想検討委員会」を立ち上げ、学生確保や入学定員の見直しについて検討し、10月に国際教養学部国際教養学科のコース制の導入や入学定員の削減等を内容とする答申を受けた。この答申を受け、学内に「中国学園大学国際教養学部国際教養学科改編プロジェクト会議」を設置し、具体的な改編に向けての協議を行い、入学定員を30名削減することで手続きを進めている。(30)</p>

			<p>未知数」という不安を払拭させる。</p> <p>④学部で取り組んでいる「進路サポート・プロジェクト（公務員、教員、国際ボランティア、国際貿易、英語力強化等）」を喧伝し、学部の良さである「一人ひとりを大切に」を広くアピールする。</p> <p>⑤学部主催のシンポジウムを開催し、研究・教育面における学部の取組を紹介する。</p> <p>⑥フェイスブック、YouTube等を活用し、学生の成長の様子や日常的な学部の取組を知って貰い学部の魅力をアピールする。</p> <p>⑦在学生による母校訪問を実施し、英語によるプレゼンテーション等を介して、学生の成長を伝え、本学部への潜在的な受験生を増やす。</p> <p>⑧学部がこれまでに取り組んできた「総合国際交流プロジェクト」を更に充実させて、学内外で実施される「どっぷり異文化交流」をアピールする。</p> <p>⑨高校での「出前講座」が可能であることをアピールし、高校生、高校側との接点を構築する。(30)</p>		
<p>設置計画履行状況調査時 (平成30年2月)</p>	<p>・国際教養学部国際教養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>国際教養学部における教員の年齢構成は、50代から70代の学識と経験豊かな教授陣と、他方において実践研究を担う若手研究者、実社会での実務経験を生かした授業が可能な教員を配置したことに伴い、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員で、当該学部の完成年度までにこの規程に抵触する者が在籍することとなった。今後の教員構成については、現在も若年教員として活躍できる人材の発掘に努めている。(30)</p>	<p>未履行</p>	<p>定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の雇用の件について、完成年度である平成30年度までは現状が続くが、完成年度後の平成31年度に向け、中国学園大学将来構想検討委員会及び中国学園大学国際教養学部国際教養学科改編プロジェクト会議において、コース制の導入やカリキュラムの見直しを行うとともに計画的な世代交替を考慮に入れた上で、定年規程にあった本学部にふさわしい人材として若手研究者の採用に努める。(30)</p>
<p>設置計画履行状況調査時 (平成30年2月)</p>	<p>・同一設置者が設置する既設学部等（中国短期大学総合生活学科、情報ビジネス学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>定員充足に向けて、両学科及び入試広報部において学科の特長化や広報戦略の見直し等の学生確保の取組を進め、依然として厳しい状況ではあるが、情報ビジネス学科は平成29年度及び平成30年度の入学者は定員充足率が0.7倍を超えた。</p> <p><現在の改善状況></p> <p>○総合生活学科</p> <p>①2コース制へ改編すると同時に医療事務コースを選抜制とし社会的認知度向上を進める。</p> <p>②必修科目に社会的教養に</p>	<p>未履行</p>	<p>平成28年度には学内外の有識者で構成した「中国短期大学将来構想検討委員会」を4回開催し、学生確保に向けた改善策を検討し、各学科の特徴的な学習内容、カリキュラム、教育方法等を見直す報告書が提出され、現在、この改善策を強力に進めている。また、総合生活学科においては、新たなコースの設置や定員の見直しを含め検討を行っている。(30)</p>

関する3科目を加え、学科の目指すところをより分かりやすくし、かつ学生のレベル向上を図る。
 ③資格取得者の「声」パンフレットを作成し、学生の目標・目的意識を高めることを促すとともに対外的認知度向上も進める。
 ④オープンキャンパス、学校訪問、ホームページなどで学科の特長及び魅力をより分かりやすくアピールしていく。
 ○情報ビジネス学科
 ①必修科目を平成29年度より、これまでの2科目から10科目に変更した。また、コース制からフィールド&ユニット制に変更し、幅広く専門的な学修を効率的に行うための独自のシステムを導入した。
 ②簿記関連科目においては、初心者クラスと経験者クラスに分け、学生それぞれのレベルに応じた学修を可能にした。
 ③留学生が増加した関係もあり、学修状況に応じた個別の学修支援体制を強化した。
 ④地域のイベントやボランティア活動などに積極的に参加し、学科の知名度アップを目指した。
 ⑤学科の実践活動の一環として取り組んでいるテレビ・ラジオの番組制作においては学科のPRになるようなコンテンツを取り入れて放送するように工夫した。
 ⑥オープンキャンパスで実施している体験授業では、ブースを2種類用意して、参加者に選択してもらうようにした。これにより複数回参加する高校生が増加した。
 ⑦チラシや動画CMを制作し、配布やインターネットへのアップによって知名度向上を目指した。(30)

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<国際教養学部 国際教養学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
(1～6の項目により記入した事項以外は該当なし)	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成20年3月に設置された「中国学園大学ファカルティ・ディベロップメント委員会」を中心として、ファカルティ・ディベロップメント（FD）を組織的に推進する体制を整えてある。委員会規程は別紙のとおりである。（中国学園大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程：別添資料）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>平成29年度に関しては、第1回委員会を平成29年5月17日に開催し、平成29年度の事業計画について協議した。大学委員8人の他、事務局職員2人が参加した。第2回委員会は、平成29年7月5日に開催し、平成29年度に開催するFD研修会の実施内容について協議した。大学委員8人の他、事務局職員2人が参加した。第3回委員会は、平成29年9月6日に開催し、第1回FD・SD合同研修会の実施計画について協議した。大学委員8人の他、事務局職員2人が参加した。第4回委員会は、平成30年2月14日に開催し、第3回FD研修会の実施内容について協議した。大学委員8人の他、事務局職員2人が参加した。第5回委員会は、平成30年3月7日に開催し、平成29年度の実施事項と平成30年度の実施計画について協議した。大学委員8人の他、事務局職員2人が参加した。平成30年度は、第1回委員会を平成30年5月16日に開催し、本年度の事業活動について協議する。平成30年度においても、昨年度と同回数委員会を開催する予定である。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>大学及び大学院の教員が教育の質的向上を図るために組織的に取り組む活動（FD）を推進することを目的として、次の事項を掌理する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 教育研究活動改善のための基本方策に関すること (2) FD推進のための研修会及び講習会の開催に関すること (3) 教員の教授活動相互研鑽に関すること (4) 学生の授業評価の実施に関すること (5) FD活動に関する情報の収集と提供に関すること (6) その他、学長の諮問する事項
--

② 実施状況

a 実施内容

- ・教員相互の授業参観：本学全教員の授業を前期・後期各2週間公開し、互いに参観し意見・感想を提出する。
- ・授業方法等についての研究会：年に2回(前・後期各1回)講師を立てて、授業方法等を研究する。
- ・授業評価アンケート：学生による授業評価のアンケートを実施する。
- ・卒業生アンケート：卒業生に授業、資格等に関するアンケートを実施する。

b 実施方法

- ・教員相互の授業参観：年に2回(前・後期各1回)、それぞれ2週間の授業公開期間を設けている。この期間、原則として本学全教員の授業が公開される。教員は空いている時間に自由に他の教員の授業を見学できる。互いに授業を参観し、感想や問題点についてレポートする。
- ・授業方法等についての研究会：全学教員の中から授業参観や授業評価アンケートで評価の高かった教員2、3人を選び、それぞれの授業における工夫や考え方を講演する。また、外部講師による研修会を実施する。
- ・授業評価アンケート：学生にアンケート用紙を配布して、記入後回収し統計的に処理する。自由記述欄も設けた。
- ・卒業生アンケート：3月に卒業した学生に対し、8月頃往復葉書を用い授業、資格等についてのアンケートを実施する。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ・教員相互の授業参観：年に2回(前・後期各1回)、それぞれ2週間の授業公開期間を設けている。平成29年度では、学園全体で前期21名による26科目、後期19名による24科目の参観が行われた。平成30年度は、6月及び12月に施行予定である。
- ・授業方法等についての研究会：平成29年度は9月に1回及び2月に2回、全学園の教職員を対象に施行された。9月は75名、2月は76名及び51名の参加であった。平成30年度においては、9月及び2月の2回開催予定である。
- ・授業評価アンケート：平成29年度は、前期・後期において全教員が実施した。
- ・卒業生アンケート：平成29年度は、平成29年3月卒業生全員へアンケートを実施した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・授業評価アンケート、公開研究授業、授業方法等についての研究会等を今後も継続的に実施することとする。さらに、各教員の授業スタイルの反省や授業改善への意欲が高まる取り組みを創意工夫する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・年2回前期8月、後期1月の最終授業日において全教員が実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・アンケートの集計結果については、各教員は所属学部長を通してそれぞれ結果を配布される。学生は、本学ホームページにおいて公開している集計結果(概要)を閲覧可能である。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(1) 設置の趣旨

国際教養学部は、グローバル社会で求められる基礎力である知識力、情操力、意思力、情報発信力、行動力の統合的資質・能力である「国際教養」を備え、高い英語と日本語の統合的コミュニケーション能力に基づいて、地域から世界に発信し、地域及び国際舞台で活躍できる企業人・社会人を育成することを目的とする。このことを実現するために、教育課程の専門教育科目として、「国際教養基幹科目」「英語共通科目」「IT共通科目」「英語コミュニケーション・フィールド科目」「国際文化フィールド科目」「国際ビジネス・フィールド科目」「ゼミナール科目」「キャリア科目」「海外留学科目」「日本語科目」を配置している。

(2) 現状

今回も新2年生の現状を記載する。5月の連休明けに実施した「オリエンテーション海外研修（フィリピン・セブ島）」は、所定の成果を上げた。学生達は、異文化への興味と関心を増幅させることができたことに加え、国際語としての英語の重要性和、日本文化の素晴らしさを再認識することができた。また、姉妹校である高苑科技大学（高雄市、台湾）の学生がセメスター留学生として、前期に2名、後期に3名が学生達と同じ教室で学ぶ環境の中で、日常的に異文化交流ができたことは、日台双方の学生にとって有意義であった。

「基礎ゼミ」及び「専門ゼミ」を充実したものにするため、本学部では「学修説明会」を年に3回実施している。新2年生も全員が積極的に参加したことから判断すると、学業に対する前向きな姿勢を育てることができていると思われる。前回取り上げた、各種勉強会についても、各教員の協力の下、継続して実施されている。

設置の趣旨にある「国際教養」が順調に身につく、学部の目的は概ね達成されていると思われる。

完成年度を迎える平成30年には、昨年の入学者数22名を大幅に上回る38名が入学した。学部の認知度が上がったことが要因の一つだと思われるが、在学生に対するこれまでの指導が、それぞれの母校に伝わり、指導に当たる先生からの推薦で本学部を受験したケースが増えていることも確かである。引き続き、懇切丁寧な指導を行っていく所存である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年10月 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、学内教職員及び希望する学生に配布する。
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成30年10月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成34年度に評価機関（(財)日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成29年6月1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。